

この「答えとてびき」はとりはずしてお使いください。



教科書ぴったりトレーニング

答えとてびき

教育出版版 算数 3年



◆ **もんだい 問題がとけたら...**

- ① まずは答え合わせをしましょう。
- ② 次にてびきを読んでかくにんしましょう。

🏠 おうちのかなへ では、次のようなものを示しています。

- ・学習のねらいやポイント
- ・他の学年や他の単元の学習内容とのつながり
- ・まちがいがやすいことやつまずきやすいところ

お子様への説明や、学習内容の把握などにご活用ください。

🕒 しあげの5分レッスン では、

学習の最後に取り組む内容を示しています。
学習をふりかえることで学力の定着を図ります。

答え合わせの時間短縮に 丸つけラクラク解答 デジタルもご活用ください!

右の QR コードをスマートフォンなどで読み取ると、赤字解答の入った本文紙面を見ながら簡単に答え合わせができます。

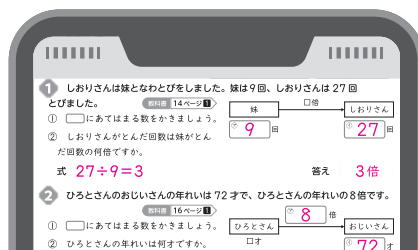


丸つけラクラク解答デジタルは以下の URL から確認できます。

<https://www.shinko-keirinwebshop.com/shinko/2024pt/rakurakudegi/MKS3da/index.html>

※丸つけラクラク解答デジタルは無料でご利用いただけますが、通信料金はお客様のご負担となります。

※QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



1 かけ算のきまり

びっぴり1 じゃんび 2 ページ

- 1 (1)20、20、20 (2)0、0
(3)5、0、0

びっぴり2 練習 3 ページ

- 1 ①0 ②0 ③0 ④0
- 2 ①0 ②0 ③0 ④0
- 3 ①式 $10 \times 4 = 40$ 答え 40 点
②式 $6 \times 0 = 0$ 答え 0 点
③式 $2 \times 3 = 6$ 答え 6 点
④式 $0 \times 1 = 0$ 答え 0 点

てびき

- 1 どんな数に0をかけても、答えは0になります。
- 2 0にどんな数をかけても、答えは0になります。
- 3 とく点は、
 $\text{点数} \times \text{入った数(こ)} = \text{とく点(点)}$
の式でもとめられます。

びっぴり1 じゃんび 4 ページ

- 1 (1)3 (2)6 (3)3
- 2 (1)5、28 (2)①8 ②4 ③48

🏠 おうちのかなへ このテキストで出てくる、4ページの交かんのきまり、分配のきまり、6ページの結合のきまりは、中学数学では、文字を使って交換法則、分配法則、結合法則として学習する大切な内容です。数の合成・分解を含め、これから学習する算数・数学の基礎となります。必ず理解させておきたいものです。

1 ①2 ②4 ③6 ④9 ⑤7 ⑥2

2 ①1 ②4

3 ①3 ②3

4 ①66 ②36 ③32 ④126

- 1 ① 2×7 は、 2×6 よりかける数が1ふえているので、答えは2大きくなります。
 ② 4×8 は、 4×9 よりかける数が1へっているので、答えは4小さくなります。
 ③6のだんでは、かける数が1ふえると、答えは6大きくなります。
 ④8のだんでは、かける数が1へると、答えは8小さくなります。
 ⑤⑥かけられる数とかける数を入れかえて計算しても、答えは同じになります。
- 2 ①かけられる数を分けても、答えは同じになるので、7を6と□(=1)に分けて計算します。
 ②かけられる数を分けても、答えは同じになるので、6を□(=4)と2に分けて計算します。
- 3 ①かける数を分けても、答えは同じになるので、9を6と□(=3)に分けて計算します。
 ②かける数を分けても、答えは同じになるので、8を□(=3)と5に分けて計算します。
- 4 ①かけられる数の11を分けて考えます。
 (れい)11を5と6に分けて計算すると、
 $11 \times 6 = (5 \times 6) + (6 \times 6) = 30 + 36 = 66$
 ②かけられる数の12を分けて考えます。
 (れい)12を8と4に分けて計算すると、
 $12 \times 3 = (8 \times 3) + (4 \times 3) = 24 + 12 = 36$
 ③かける数の16を分けて考えます。
 (れい)16を9と7に分けて計算すると、
 $2 \times 16 = (2 \times 9) + (2 \times 7) = 18 + 14 = 32$
 ④かける数の18を分けて考えます。
 (れい)18を9と9に分けて計算すると、
 $7 \times 18 = (7 \times 9) + (7 \times 9) = 63 + 63 = 126$

1 (1)6、60 (2)12、1200

2 ①20 ②60 ③6 ④60

1 ①40 ②120 ③450 ④180

2 ①800 ②500 ③2100 ④4000

3 ① $3 \times 3 \times 2 = 9 \times 2 = 18$
 $3 \times (3 \times 2) = 3 \times 6 = 18$
 ② $50 \times 2 \times 4 = 100 \times 4 = 400$
 $50 \times (2 \times 4) = 50 \times 8 = 400$

4 ①8 ②8

1 10のまとまりが何こあるか考えて計算します。
 ①10が2ことみて、10が(2×2)こ。
 $2 \times 2 = 4$ 、10が4こで40なので、
 $20 \times 2 = 40$ になります。
 ②10が4ことみて、10が(4×3)こ。
 $4 \times 3 = 12$ 、10が12こで120なので、
 $40 \times 3 = 120$ になります。
 ③10が5ことみて、10が(5×9)こ。
 $5 \times 9 = 45$ 、10が45こで450なので、
 $50 \times 9 = 450$ になります。
 ④10が9ことみて、10が(9×2)こ。
 $9 \times 2 = 18$ 、10が18こで180なので、
 $90 \times 2 = 180$ になります。

2 100のまとまりが何こあるか考えて計算します。
 ①100が2ことみて、100が(2×4)こ。
 $2 \times 4 = 8$ 、100が8こで800なので、
 $200 \times 4 = 800$ になります。
 ③100が7ことみて、100が(7×3)こ。
 $7 \times 3 = 21$ 、100が21こで2100なので、
 $700 \times 3 = 2100$ になります。
 ④100が5ことみて、100が(5×8)こ。
 $5 \times 8 = 40$ 、100が40こで4000なので、
 $500 \times 8 = 4000$ になります。

3 前からじゅんにかけるしかたと、後の2つを先にかけるしかたの2通りあります。

| | |
|---|---------------------|
| ① $3 \times 3 \times 2$ | ① $3 \times 3 = 9$ |
|  | ② $9 \times 2 = 18$ |
| $3 \times (3 \times 2)$ | ① $3 \times 2 = 6$ |
|  | ② $3 \times 6 = 18$ |

4 ①5のだんの九九をと覚えて見つけます。

1 ①3 ②9 ③6、2

1 ① 3×8 は、 3×7 よりかける数が1ふえているので、答えは3大きくなります。
 ② 9×5 は、 9×6 よりかける数が1へっている
 ので、答えは9小さくなります。
 ③ 2×7 の答えは、 2×6 より2大きくて、
 2×8 より2小さくなります。

2 ①5 ②7 ③5 ④6

3 ①2 ②8 ③7 ④2 ⑤8 ⑥9 ⑦7
⑧5

4 ①0 ②0 ③0 ④0 ⑤160 ⑥100
⑦900 ⑧1400

5 ① $30 \times 3 \times 3 = 90 \times 3 = 270$
 $30 \times (3 \times 3) = 30 \times 9 = 270$
② $20 \times 4 \times 2 = 80 \times 2 = 160$
 $20 \times (4 \times 2) = 20 \times 8 = 160$

2 ①5のだんでは、かける数が1ふえると、答えは5大きくなります。
②7のだんでは、かける数が1へると、答えは7小さくなります。

③④かけられる数とかける数を入れかえて計算しても、答えは同じになります。

3 ①かける数を分けても、答えは同じになるので、3を1と2に分けます。

$$4 \times 3 = \underline{12}$$

$$(4 \times 1) + (4 \times 2) = 4 + 8 = \underline{12}$$

②かける数の9が4と5に分かれています、かけられる数は8のままなので、もう一方のかけられる数も8になります。

$$8 \times 9 = \underline{72}$$

$$(8 \times 4) + (8 \times 5) = 32 + 40 = \underline{72}$$

③かけられる数の6が3と3に分かれています、かける数は7のままなので、もう一方のかける数も7になります。

$$6 \times 7 = \underline{42}$$

$$(3 \times 7) + (3 \times 7) = 21 + 21 = \underline{42}$$

④かけられる数を分けても、答えは同じになるので、5を2と3に分けます。

$$5 \times 9 = \underline{45}$$

$$(2 \times 9) + (3 \times 9) = 18 + 27 = \underline{45}$$

⑤ $2 \times \square = 16$ から、2のだんの九九をと調べて、答えが16になるようなかける数を見つけます。

⑦ $1 \times 5 = 5$ 、 $2 \times 5 = 10$ 、……のように、数をじゅんにあてはめてもとめます。

または、 $\square \times 5 = 5 \times \square$ と考えて、5のだんの九九をと調べてもとめることもできます。

4 ①~④どんな数に0をかけても、0にどんな数をかけても、答えは0になります。

⑤⑥10が何こあるか考えて計算します。

⑤40を10が4このまとまりとみて、10が(4×4)あると考えます。

⑦⑧100が何こあるか考えて計算します。

⑦100が(1×9)あると考えます。

5 前の数からじゅんにかけるしかたと、後の2つの数を先にかけるしかたの2通りあります。

$$\textcircled{1} 30 \times 3 \times 3$$

$$30 \times (3 \times 3)$$

$$\textcircled{1} 30 \times 3 = 90$$

$$\textcircled{2} 90 \times 3 = \underline{270}$$

$$\textcircled{1} 3 \times 3 = 9$$

$$\textcircled{2} 30 \times 9 = \underline{270}$$

6 ①4 ②12 ③42 ④14 ⑤42

7 ①100点…式 $100 \times 3 = 300$ 答え 300点
10点…式 $10 \times 0 = 0$ 答え 0点
5点…式 $5 \times 4 = 20$ 答え 20点
0点…式 $0 \times 7 = 0$ 答え 0点
②式 $300 + 0 + 20 + 0 = 320$
答え 320点

6 もとめ方1 かけられる数を分けて計算しても、答えは同じになるというきまりを使って、14を10と4に分けて計算します。

もとめ方2 かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけ大きくなるきまりを使ってもとめます。

7 ①それぞれのところのとく点は、
 $\boxed{\text{点数}} \times \boxed{\text{入れた数(こ)}} = \boxed{\text{とく点(点)}}$
の式でもとめます。
②とく点の合計は、それぞれのところ(100点、10点、5点、0点)のとく点をたします。

2 時ごとと時間

ぴったり1 じゃんび 10 ページ

1 (1)11、30 (2)70

2 (1)11 (2)9

ぴったり2 練習 11 ページ

てびき

1 ①午前9時25分 ②午後8時25分
③午後2時45分 ④午前10時20分

2 ①1時間20分 ②1時間35分
③2時間35分

3 ①75 ②180 ③1、20 ④148

1 ①午前8時35分の25分後が、ちょうど午前9時。さらにその25分後です。
②午後6時45分の15分後が、ちょうど午後7時。さらに1時間後が午後8時。さらにその25分後なので、午後8時25分になります。
③午後3時30分の30分前が、ちょうど午後3時。その15分前なので、午後2時45分。
④午前11時40分の40分前が、ちょうど午前11時。さらにその40分前なので、午前10時20分になります。

2 ①35分間と45分間をあわせて80分間。
 $80 \text{分間} = 1 \text{時間} 20 \text{分}$ です。
②午後10時15分から午後11時までの時間は、45分。午後11時から午後11時50分までの時間は、50分。45分と50分をあわせて、 $95 \text{分} = 1 \text{時間} 35 \text{分}$ です。
③午前11時25分から正午までは、35分。
正午から午後2時までには2時間。35分と2時間て、2時間35分になります。

3 ①1分=60秒びようなので、60秒と15秒で75秒。
②3分=60秒+60秒+60秒=180秒です。
③80秒は、60秒と20秒をあわせた時間です。
④2分=120秒なので、120秒と28秒をあわせると148秒です。

- 4 ①75秒 ②2分

- 4 単位をそろえて、時間をくらべます。

① $1\text{分} = 60\text{秒}$

60秒と75秒では、75秒のほうが長いです。

② $2\text{分} = 120\text{秒}$ 120秒と110秒では、120秒のほうが長いです。

おうちのかなへ お子様に、「時刻」と「時間」の違いをしっかりとおさえさせましょう。時刻とは時間の流れのある1点をさし、時間とはある時刻と時刻の間の長さをいいます。

ぴんた13 たしかめのテスト 12~13 ページ

てびき

- 1 ①120 ②1、40 ③2、30 ④80

- 1 ① $1\text{分} = 60\text{秒}$ $2\text{分} = 60\text{秒} + 60\text{秒} = 120\text{秒}$

② $100\text{秒} - 60\text{秒} = 40\text{秒}$

だから、100秒 = 1分40秒になります。

③ $150\text{秒} - 60\text{秒} = 90\text{秒}$

まだ60秒がひけるので、

$90\text{秒} - 60\text{秒} = 30\text{秒}$

だから、150秒 = 2分30秒になります。

④ 1分20秒は、60秒と20秒をあわせた時間。

- 2 ①分 ②時間 ③秒 ④分

- 2 まい日の生活の中で、「時間」、「分」、「秒」の表す時間の長さとおさえしましょう。

しあげの5分レッスン 時計は、60秒 = 1分、60分 = 1時間です。おぼえておきましょう。

- 3 ①80秒 ②150秒 ③90秒 ④190秒

- 3 ①80秒と1分(=60秒)では、80秒のほうが長いです。

②2分は120秒なので、 $2\text{分} (= 120\text{秒})$ と150秒では、150秒のほうが長いです。

③ $1\text{分} 15\text{秒} = 60\text{秒} + 15\text{秒} = 75\text{秒}$

75秒と90秒では、90秒のほうが長いです。

④ $190\text{秒} = 3\text{分} 10\text{秒}$ です。3分10秒と3分では、3分10秒のほうが長いです。

- 4 ①午後5時15分 ②午前8時50分
③午前11時50分 ④1時間15分
⑤1時間40分 ⑥1時間55分

- 4 ①午後4時25分の35分後が、ちょうど午後5時です。さらにその15分後なので、午後5時15分になります。

② $1\text{時間} 10\text{分} = 70\text{分}$

午前7時40分の20分後が、ちょうど午前8時です。さらにその50分後なので、午前8時50分になります。

③午後0時15分の15分前の時こくが、ちょうど午後0時です。さらにその10分前なので、午前11時50分になります。

④ $50\text{分間} + 25\text{分間} = 75\text{分間} = 1\text{時間} 15\text{分}$

⑤午前10時5分から午前11時までの時間は、55分です。午前11時から午前11時45分までの時間は、45分。55分と45分をあわせて、 $100\text{分} = 1\text{時間} 40\text{分}$ になります。

- 5 ①午後1時45分 ②午後3時25分
③35分 ④午後3時50分

- ⑥午前11時20分から正午までは、40分。正午から午後1時までは1時間。40分と1時間と15分をあわせて、1時間55分になります。
- 5 ①時計は、午後2時5分をさしています。家を出たのは20分前なので、20分前の時こくをもとめます。午後2時5分の5分前が、ちょうど午後2時。さらにその15分前なので、午後1時45分になります。
- ②午後2時5分から1時間20分後の時こくをもとめます。1時間20分=80分
午後2時5分の55分後が、ちょうど午後3時。さらにその25分後なので、午後3時25分になります。
- ③午後3時25分から午後4時までの時間は、35分です。
- ④自転車で20分かかるので、午後4時10分の20分前の時こくをもとめます。午後4時10分の10分前が、ちょうど午後4時。さらにその10分前なので、午後3時50分になります。

3 たし算とひき算

びっぴり1 じゃんび 14 ページ

- 1 (1)6、600 (2)1、1022
2 9、9035

びっぴり2 練習 15 ページ

1 ①
$$\begin{array}{r} 125 \\ +523 \\ \hline 648 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 359 \\ +328 \\ \hline 687 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 472 \\ +481 \\ \hline 953 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 126 \\ +67 \\ \hline 193 \end{array}$$

- 2 ①701 ②901 ③500 ④1378
⑤1165 ⑥1020

3 ①
$$\begin{array}{r} 5429 \\ +1336 \\ \hline 6765 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 1625 \\ +2995 \\ \hline 4620 \end{array}$$

てびき

- 1 ^{くさい}位をたてにそろえて書きましょう。
- ②は十の位、③は百の位に、それぞれ1くり上がります。くり上げた1をたしわすれないように気をつけましょう。
- ④一の位から1くり上がるので、十の位の計算は1+2+6=9となります。
- 2 ①
$$\begin{array}{r} 376 \\ +325 \\ \hline 701 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 882 \\ +19 \\ \hline 901 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 492 \\ +8 \\ \hline 500 \end{array}$$
- ④~⑥答えが4けたになるので、^{ちゅうい}注意しましょう。
- ④
$$\begin{array}{r} 557 \\ +821 \\ \hline 1378 \end{array}$$
 ⑤
$$\begin{array}{r} 186 \\ +979 \\ \hline 1165 \end{array}$$
 ⑥
$$\begin{array}{r} 975 \\ +45 \\ \hline 1020 \end{array}$$
- 3 3けたの数のたし算と同じように、位をたてにそろえて計算します。けた数がふえるので、とくにくり上がりに注意しましょう。

- 4 ①4884 ②8919 ③7205 ④9088
⑤9154 ⑥3000

4 くり上がりちやういに注意して、計算しましょう。

$$\begin{array}{r} \textcircled{1} \quad \begin{array}{r} 2457 \\ +2427 \\ \hline 4884 \end{array} \quad \textcircled{2} \quad \begin{array}{r} 7238 \\ +1681 \\ \hline 8919 \end{array} \quad \textcircled{3} \quad \begin{array}{r} 4513 \\ +2692 \\ \hline 7205 \end{array} \\ \textcircled{4} \quad \begin{array}{r} 6439 \\ +2649 \\ \hline 9088 \end{array} \quad \textcircled{5} \quad \begin{array}{r} 3867 \\ +5287 \\ \hline 9154 \end{array} \quad \textcircled{6} \quad \begin{array}{r} 1254 \\ +1746 \\ \hline 3000 \end{array} \end{array}$$

おうちのがたへ けた数が大きくなっても、位をそろえて書き、一の位から順に計算させましょう。
ここで注意すべき点は、くり上がった数の処理です。忘れないようにくり上がったけた数の上に小さく「1」を書かせましょう。

びんぱり1 じゃんび 16ページ

- 1 (1)1、137 (2)2、269
2 4、4837

びんぱり2 練習 17ページ

てびき

- 1 ① $\begin{array}{r} 273 \\ -146 \\ \hline 127 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 329 \\ -168 \\ \hline 161 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 614 \\ -275 \\ \hline 339 \end{array}$
④ $\begin{array}{r} 331 \\ -267 \\ \hline 64 \end{array}$
- 2 ①348 ②188 ③323 ④696 ⑤795
⑥48
- 3 ① $\begin{array}{r} 1564 \\ -732 \\ \hline 832 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 3124 \\ -152 \\ \hline 2972 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 7528 \\ -929 \\ \hline 6599 \end{array}$
- 4 ①1193 ②6728 ③4883 ④2785
⑤5447 ⑥8328

1 位くらをたてにそろえて書きましょう。

$$\begin{array}{r} \textcircled{1} \quad \begin{array}{r} 273 \\ -146 \\ \hline 127 \end{array} \quad \textcircled{2} \quad \begin{array}{r} 329 \\ -168 \\ \hline 161 \end{array} \quad \textcircled{3} \quad \begin{array}{r} 614 \\ -275 \\ \hline 339 \end{array} \\ \textcircled{4} \quad \begin{array}{r} 331 \\ -267 \\ \hline 64 \end{array} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \textcircled{2} \quad \textcircled{1} \quad \begin{array}{r} 348 \\ -701 \\ \hline 348 \end{array} \quad \textcircled{2} \quad \begin{array}{r} 188 \\ -406 \\ \hline 188 \end{array} \quad \textcircled{3} \quad \begin{array}{r} 323 \\ -701 \\ \hline 323 \end{array} \\ \textcircled{4} \quad \begin{array}{r} 696 \\ -900 \\ \hline 696 \end{array} \quad \textcircled{5} \quad \begin{array}{r} 795 \\ -801 \\ \hline 795 \end{array} \quad \textcircled{6} \quad \begin{array}{r} 48 \\ -952 \\ \hline 48 \end{array} \end{array}$$

3 3けたの数のひき算と同じように、位をそろえて一の位からじゅんに計算します。

4 3けたのときよりもくり下がりが多くなることもあるので、ていねいに計算しましょう。

$$\begin{array}{r} \textcircled{1} \quad \begin{array}{r} 3324 \\ -2131 \\ \hline 1193 \end{array} \quad \textcircled{2} \quad \begin{array}{r} 8141 \\ -9653 \\ \hline 6728 \end{array} \quad \textcircled{3} \quad \begin{array}{r} 6721 \\ -7831 \\ \hline 4883 \end{array} \\ \textcircled{4} \quad \begin{array}{r} 37001 \\ -4002 \\ \hline 2785 \end{array} \quad \textcircled{5} \quad \begin{array}{r} 57001 \\ -6001 \\ \hline 5447 \end{array} \quad \textcircled{6} \quad \begin{array}{r} 87001 \\ -9007 \\ \hline 8328 \end{array} \end{array}$$

3 ①42 ②92 ③70 ④33 ⑤37 ⑥69

4 ①476 ②302 ③246 ④1333

5 ^{しき}式 $297+356=653$ 答え 653 こ

6 式 $135+588=723$
 $1000-723=277$ 答え 277 円

7 ⑥698 円 ⑦2210 円 ⑧1041 円

$$\begin{array}{r} ⑦ \quad 611 \\ \quad 724 \\ -169 \\ \hline 555 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑧ \quad 721 \\ \quad 833 \\ -54 \\ \hline 779 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑨ \quad \begin{array}{cccc} & 9 & 9 & \\ & 6 & 1 & 0 & 1 \\ & 7 & 0 & 0 & 2 \\ -4217 \\ \hline 2785 \end{array} \end{array}$$

くり上げた数やくり下げた数をわすれないこと。

3 ① $15+27 \rightarrow 15+(\underline{20})=35$ $35+(\underline{7})=42$

② $43+49 \rightarrow 43+(\underline{40})=83$ $83+(\underline{9})=92$

④ $51-18 \rightarrow 51-(\underline{10})=41$ $41-(\underline{8})=33$

⑤ $62-25 \rightarrow 62-(\underline{20})=42$ $42-(\underline{5})=37$

4 ①296に4をたして300にします。

$300+180=480$ 4をたしたので、480から4をひいた数が答えになります。

②398に2をたして400にします。

$$700-400=300$$

2をたしたので、300に2をたした数が答えになります。

③ $146+53+47=146+(53+47)$

$$=146+100=246$$

④ $728+333+272=(728+272)+333$

$$=1000+333=1333$$

5 3年生と4年生が^{あつ}集めた^{ごうけい}あきかんの合計をもとめるので、たし算になります。

6 まず、ノートと本の代金の合計をもとめます。

$$135+588=723(\text{円})$$

1000円から代金をひいて、

$$1000-723=277(\text{円})$$

7 プレゼントを買う前ののこったお金は1867円、

プレゼントを買ったあとののこったお金は

1169円なので、プレゼント代は、

$$1867-1169=698(\text{円})\text{になります。}$$

698は、^{つか}使ったお金のらんに書きます。

8月に入ったお金は、 $1530+600=2130$ 、

$$2130+50+30=2210(\text{円})\text{になります。}$$

8月に使ったお金は、 $105+98+140=343$ 、

そこにプレゼント代の698円をたして、

$$343+698=1041(\text{円})\text{になります。}$$

🎯しあげの5分レッスン 7のような^{もんだい}問題では、答えをどこに書いたらよいかまようものです。おてつだいなどで入った^{しなモノ}お金、^{ひよう}品物を買ったときに使ったお金が表のどこに書かれているかから考えてみましょう。

4 わり算

びっぴり1 じゃんび

22 ページ

- 1 18、3
2 32、4、4

びっぴり2 練習

23 ページ

てびき

- 1 ① $16 \div 2 = 8$
② $24 \div 4 = 6$
- 2 式 $30 \div 5 = 6$ 答え 6ふくろ
- 3 式 $27 \div 3 = 9$ 答え 9本

- 1 ① $\frac{\text{全部の数}}{\text{1さら分の数(こ)}} = \frac{\text{分けられるさらの数(しき)}}{\text{1さら分の数}}$ の式にあてはめます。
② $\frac{\text{全部の数}}{\text{人数(人)}} = \text{1人分の数}$ の式にあてはめます。
- 2 $\frac{\text{全部の数}}{\text{1ふくろ分の数(こ)}} = \frac{\text{分けられるふくろの数}}{\text{1ふくろ分の数}}$ と考えます。
30÷5の答えは、 $5 \times \square = 30$ の□にあてはまる数なので、5のだんの九九でもとめることができます。 $5 \times 6 = 30$ なので、 $30 \div 5 = 6$
- 3 $\frac{\text{全部の数}}{\text{人数(人)}} = \text{1人分の数}$ と考えます。
27÷3の答えは、 $3 \times \square = 27$ の□にあてはまる数なので、3のだんの九九でもとめることができます。 $3 \times 9 = 27$ なので、 $27 \div 3 = 9$

びっぴり1 じゃんび

24 ページ

- 1 (1)①6 ②3 ③2 ④2
(2)①6 ②3 ③2 ④2
- 2 (1)0 (2)1 (3)3

びっぴり2 練習

25 ページ

てびき

- 1 ①式 $27 \div 3 = 9$ 答え 9たば
②式 $27 \div 3 = 9$ 答え 9まい

- 1 ① $\frac{\text{全部の数}}{\text{1たば分の数}} = \frac{\text{できるたばの数}}{\text{1たば分の数}}$ と考えます。
27÷3の答えは、 $3 \times \square = 27$ の□にあてはまる数なので、3のだんの九九を使って答えを見つけます。 $3 \times 9 = 27$ なので、 $27 \div 3 = 9$
- ② $\frac{\text{全部の数}}{\text{人数}} = \text{1人分の数}$ と考えます。
27÷3の答えは、 $\square \times 3 = 27$ の□にあてはまる数です。 $\square \times 3 = 3 \times \square$ なので、3のだんの九九を使って答えを見つけます。
①と②で答えの単位が「たば」と「まい」でちがうので注意しましょう。

- 2 ①4 ②4 ③3 ④6 ⑤7 ⑥9
⑦0 ⑧1 ⑨4

- 3 ・30 この風船を1人に5こずつ分けると、何人に分けられるでしょうか。
・30 この風船を5人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こになるでしょうか。

- 2 わり算の答えは、わる数のだんの九九を使ってもとめることができます。
①は3のだん、②は4のだん、③は7のだん、④は6のだん、⑤は9のだん、⑥は8のだんの九九を使ってもとめます。
⑦わる数が0でないどんな数であっても、わられる数が0ならば、答えは0になります。
⑧わられる数とわる数が同じ数ならば、答えは1になります。
⑨わられる数がどんな数でも、わる数が1ならば、答えはわられる数になります。

- 3 $\frac{\text{全部の数}}{\text{1人分の数}} = \text{人数}$ と、
 $\frac{\text{全部の数}}{\text{人数}} = \text{1人分の数}$ となる問題を考えます。

びっぴり1 じゃんび 26 ページ

- 1 ①60 ②6 ③6 ④60 ⑤10 ⑥10
2 (1)①10 ②3 ③13 ④13
(2)①10 ②1 ③11 ④11

びっぴり2 練習 27 ページ

- 1 ①30 ②30 ③40 ④10 ⑤10 ⑥10
2 ①13 ②21 ③42 ④11 ⑤11 ⑥11

- 3 $40 \div 2 = 20$ 答え 20まい

てびき

- 1 わられる数を10が何ことみると、九九を使ってもとめられます。
①60を10が6ことみて、 $6 \div 2 = 3$ なので、 $60 \div 2 = 30$
②90を10が9ことみて、 $9 \div 3 = 3$ なので、 $90 \div 3 = 30$
④30を10が3ことみて、 $3 \div 3 = 1$ なので、 $30 \div 3 = 10$
⑤70を10が7ことみて、 $7 \div 7 = 1$ なので、 $70 \div 7 = 10$
2 九九をこえるわり算は、位ごとに計算します。
① $26 \div 2 \rightarrow 20 \div 2 = 10 \quad 6 \div 2 = 3$
あわせて13
② $63 \div 3 \rightarrow 60 \div 3 = 20 \quad 3 \div 3 = 1$
あわせて21
④ $11 \div 1 \rightarrow 10 \div 1 = 10 \quad 1 \div 1 = 1$
あわせて11
⑤ $55 \div 5 \rightarrow 50 \div 5 = 10 \quad 5 \div 5 = 1$
あわせて11
3 40を10が4ことみて、 $4 \div 2 = 2$ なので、 $40 \div 2 = 20$ で20まいになります。

4 式 $96 \div 3 = 32$

答え 32まい

4 96を、90と6に分けて考えます。

$90 \div 3 = 30$ $6 \div 3 = 2$

あわせて $30 + 2 = 32$ で32まいになります。

ぴったり3 たし算のテスト

28~29 ページ

てびき

- 1 ① $18 \div 2 = 9$
 ② $18 \div 2 = 9$

- 2 ①2 ②5 ③5 ④6 ⑤5
 ⑥0 ⑦1 ⑧5

- 3 ①10 ②20 ③32 ④11

4 式 $48 \div 8 = 6$ 答え 6人

5 式 $63 \div 7 = 9$ 答え 9人

- 6 ①、②

7 式 $145 - 89 = 56$
 $56 \div 7 = 8$ 答え 8ページ

1 ①「分けられる数」や②「1人分」をもとめるときは、わり算を使います。

2 ① $12 \div 6$ →6のだんの九九を使います。
「六二12」なので、 $12 \div 6 = 2$

② $45 \div 9$ →9のだんの九九を使います。
「九五45」なので、 $45 \div 9 = 5$

③ $35 \div 7$ →7のだんの九九を使います。
「七五35」なので、 $35 \div 7 = 5$

④0を、0でないどんな数でわっても、答えはいつも0になります。

⑤わられる数とわる数が同じときは、答えはいつも1になります。

⑥わる数が1のときは、答えはいつもわられる数になります。

3 ①20を10が2ことみて、 $2 \div 2 = 1$
10が1こなので、 $20 \div 2 = 10$ になります。

③64を60と4に分けて、 $60 \div 2 = 30$
 $4 \div 2 = 2$ 、30と2をあわせて32になります。

4 $\frac{\text{全部の数}}{\text{1人分の数}} = \text{人数}$ と考えます。
8のだんの九九を使って答えをもとめます。

5 $\frac{\text{全体の人数}}{\text{分ける数}} = \text{1つ分の人数}$ と考えます。
7のだんの九九を使って答えをもとめます。

6 ① 9×3 、② $9 - 3$ 、③ $9 \div 3$ 、④ $9 \div 3$ の式でもとめられます。

7 のこっているページをもとめるには、まず、ひき算をします。もとめたのこりのページを1週間(7日間)で読むためには、7でわります。

しあげの5分レッスン わり算の考え方のもとになるのはかけ算です。もっと言うと、2年で学習した「九九」が、算数・数学での学習のもととなります。九九の学習は、算数の力がつく、一番よい学習方法です。「九九」の計算をあなごらないで、復習しましょう。

5 長さ

ぴったり1 じゃんび

30 ページ

- 1 ①cm ②10 ③3 ④10

2 1、500

3 ①

- 1 ①96 cm ②1 m 45 cm
③3 m 81 cm ④4 m 18 cm
- 2 ①まきじゃく ②ものさし
③ものさし ④まきじゃく
- 3 ①920 m ②1360 m、1 km 360 m

- 1 |めもりは1 cmです。
①1 mの4 cm 前のめもりをさしています。
②1 mとあと45 cmです。
③4 mの19 cm 前のめもりをさしています。
④4 mとあと18 cmです。
- 2 長いものの長さや、丸いもののまわりの長さは、まきじゃくを使ってはかるとべんりです。
- 3 ①きよりは、まっすぐにはかった長さです。
② $560\text{ m} + 800\text{ m} = 1360\text{ m}$
1 km = 1000 m なので、
 $1360\text{ m} = 1\text{ km } 360\text{ m}$ になります。

- 1 ①あ55 cm ①1 m 3 cm
②う1 m 90 cm ②3 m 19 cm
③お5 m 97 cm ④か6 m 32 cm 5 mm
- 2 ①km ②cm ③m
- 3 ①2000 ②1800 ③3、400
- 4 ①ア ②ウ
- 5 道のり…1 km 850 m
きより…1 km 300 m
- 6 ①950 m ②1 km 100 m ③150 m
④2 km 50 m ⑤8分 ⑥40分

- 1 ①あ1 mの45 cm 前のめもりをさしています。
①1 mとあと3 cmです。
②う2 mの10 cm 前のめもりをさしています。
②3 mとあと19 cmです。
③まきじゃくのいちばん小さな|めもりは5 mm になっているので、注意しましょう。
④お6 mの3 cm 前のめもりをさしています。
④か6 mとあと32 cmと5 mmです。mmの単
位まで答えましょう。
- 2 それぞれの長さを思いうかべて、あてはまる長さの単位を書きましょう。
- 3 1 km = 1000 m を使って考えましょう。
① $1000\text{ m} + 1000\text{ m} = 2000\text{ m}$ になります。
② $1000\text{ m} + 800\text{ m} = 1800\text{ m}$ になります。
③3400 mは、3000 mと400 mです。
 $3000\text{ m} = 3\text{ km}$ なので、3 km 400 mです。
- 4 ①えん筆は短いので、30 cmのものさしがべんりです。
②教室の横の長さは1 mより長いので、1 mのものさしではなく、まきじゃくがべんりです。
- 5 道のりは2つの長さ(600 mと1 km 250 m)のたし算でもとめられます。きよりは、まっすぐにはかった長さです。
- 6 ① $550\text{ m} + 400\text{ m} = 950\text{ m}$
② $480\text{ m} + 620\text{ m} = 1100\text{ m}$
1 km = 1000 m なので、1 km 100 mです。
③①と②でもとめた長さのちがいをとめます。
 $1\text{ km } 100\text{ m} - 950\text{ m}$
 $= 1100\text{ m} - 950\text{ m} = 150\text{ m}$

- ④①と②でもとめた長さをたします。答えは
 $1\text{ km }1050\text{ m}$ としないようにしましょう。
 $950\text{ m} + 1\text{ km }100\text{ m}$
 $= 950\text{ m} + 1100\text{ m} = 2050\text{ m}$
 $2050\text{ m} = 2\text{ km }50\text{ m}$
- ⑤400 mは100 mの4つ分なので、
 $2 \times 4 = 8$ (分)かかります。
- ⑥2 km = 2000 mは100 mの20こ分なので、
 $2 \times 20 = 40$ (分)かかります。

6 表とぼうグラフ

びったり1 じゃんび 34 ページ

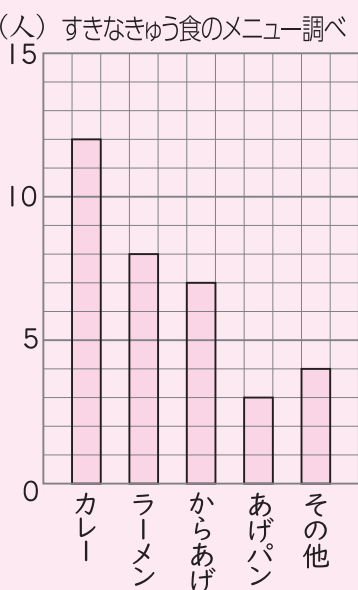
- 1 ①3 ②3 (さつ) 読んだ本調べ
 ③8 ④20
- 2 5、乗用車 (じょうようしゃ)
- 3 1、8
 右のぼうグラフ



びったり2 練習 35 ページ

てびき

- 1 ①あ4 い13 (人) すきなきゅう食のメニュー調べ
 う7 え5
 お29
 ②4人
- 2 ①読書をした時間
 ②40分間
 ③6月24日
- 3 右のグラフ



- 1 ①「正」で5人を表します。一や1の数を数えます。
 ㊦ = $4 + 13 + 7 + 5 = 29$
- ②4人家族が13人で、いちばん多い。
- 2 ぼうグラフはたてがきのものばかりではなく、横がきのものもあるので、よみ方やかき方について、きちんとおぼえておきましょう。
- ①右上の(分)という単位から時間を表していることがわかります。
- ②1めもりは2分を表しています。
- ③ぼうの長さがいちばん長い日です。
- 3 表にかかれた数とぼうグラフのますめの数をてらしあわせて、正しくぼうをかけるようにしましょう。このグラフの1めもりは1人を表しているため、カレー12めもり、ラーメン8めもり、からあげ7めもり、あげパン3めもり、…となります。

びったり1 じゃんび 36 ページ

- 1 犬がすきな人、36、2組、35、3年生、104

1 3年生のかりた本 (さつ)

| しゅるい | 組 | 1組 | 2組 | 3組 | 合計 |
|---------|---|----|----|----|-----|
| ものがたり物語 | | 13 | 12 | 14 | 39 |
| 読みもの | | 9 | 10 | 6 | 25 |
| でん記 | | 5 | 2 | 5 | 12 |
| 図かん | | 3 | 4 | 3 | 10 |
| その他 | | 4 | 5 | 6 | 15 |
| 合計 | | 34 | 33 | 34 | 101 |

- 2 ① 3年生の男子の人数
 ② ①36 ②17 ③107

おうちのがたへ 学習するときに、くふうすることは知能を発達させます。どうしたらグラフが見やすくなるか、計算が早く、簡単になるかなどをお子様にお問い合わせ、どんどん刺激を与えてください。

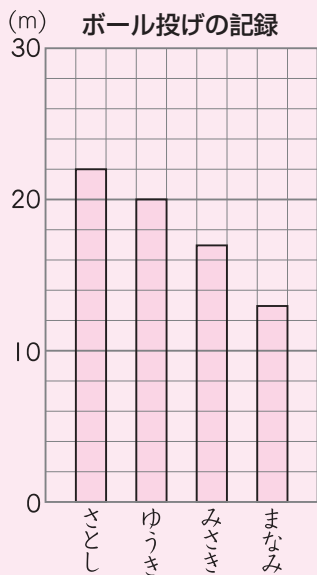
- 1 最後の合計の|0|は、たてと横の両方から計算して同じ数になるかをたしかめましょう。
- 2 ①あは、1組の男子、2組の男子、3組の男子の人数の合計です。
 ②いはいは1組の男子と女子の人数をあわせた数が入ります。③は2組の人数から2組の男子の人数をひくか、3年生の女子の人数から1組と3組の女子の人数をひいてもとめることができます。
 ④えは組の人数の合計か、男女の人数の合計か、いずれかのたし算でもとめることができます。

ぴったり3 たしがめのテスト

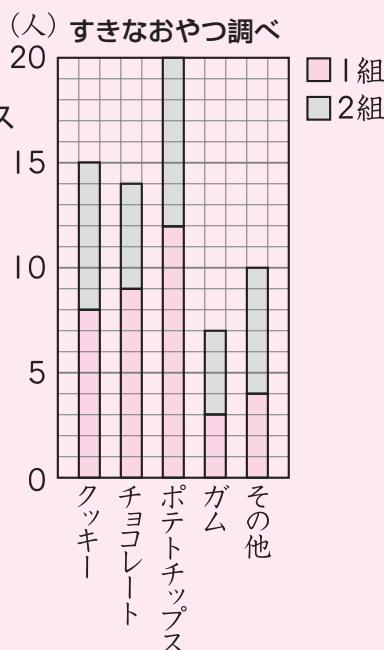
- 1 ①あ8 ②い9 ③う6
 ④え4 ⑤お2

- 2 ①2人 ②8人
 ③木曜日 ④6人

- 3 ①あ0
 ②い20
 ③う30
 ④かさとし
 ⑤きゆうき
 ⑥くみさき
 ⑦右のグラフ



- 4 ①あ15
 ②い12
 ③ポテトチップス
 ④右のグラフ
 ⑤それぞれのおやつ、1組と2組の人数の合計。



- 1 「正」の字の使い方をしっかりおぼえましょう。
- 2 ① |メモリがいつも|とはかぎりません。まず、メモリの数字から |メモリがいくつを表しているかを調べましょう。10人を5つに分けているので、|メモリは2人を表しています。
 ②メモリ4つ分なので、8人です。
 ③ぼうの長さが、いちばん長い曜日です。
 ④火曜日は12人、木曜日は18人なので、 $18 - 12 = 6$ (人) 多いです。
- 3 ①10mを5つに分けているので、|メモリは2mになることから考えましょう。
 ②みさきさんの記録は17mなので、16と18のメモリのちょうど半分のところまでぼうをかきます。
- 4 ①あ $8 + 7 = 15$ (人)
 ②い $20 - 8 = 12$ (人)
 ②クッキーの合計...15人
 チョコレートの合計...14人
 ポテトチップスの合計...20人
 ガムの合計...7人 その他の合計...10人
 合計の人数がいちばん多いおやつは、ポテトチップスです。
 ③1組と2組がつながるようにぼうグラフをかきます。
 ④1組と2組の、すきなお菓しのしゅるいごとの数をあわせ、合計の数をくらべやすくくふうしています。

7 あまりのあるわり算

びっぴり1 じゃんび

40 ページ

- 1 ①17 ②2 ③5 ④2
 2 (1)①2 ②2 ③2 ④2
 (2)①4 ②6 ③4 ④6

びっぴり2 練習

41 ページ

てびき

- 1 ①2あまり3 ②6あまり1
 2 ①6あまり1 ②5あまり3 ③6あまり1
 3 ①2あまり6 たしかめ… $7 \times 2 + 6 = 20$
 ②8あまり2 たしかめ… $8 \times 8 + 2 = 66$
 4 式 $60 \div 8 = 7$ あまり4
 答え 7本できて、4cmあまる。
 5 式 $38 \div 9 = 4$ あまり2
 答え 1人分は4まいで、2まいあまる。

- 1 ① $15 \div 6$ はわりきれないので、あまりが出ます。
 ②あまりはわる数よりも小さくなるようにします。
 2 わる数のだんの九九で答えを見つけます。
 ①2のだん、②9のだん、③4のだんの九九で答えを見つけます。
 また、あまりがわる数より小さくなっているかもかくにんしましょう。
 3 わる数 \times 答え + あまり を計算して、それがわられる数と等しいかどうかでたしかめます。
 4 全体の長さ \div 1つ分の長さ = できる本数
 と考え、わりきれない分をあまりにします。
 答えをもとめたらたしかめましょう。
 たしかめ… $8 \times 7 + 4 = 60$ もとの数の60cmになれば、答えは正しいといえます。
 5 全部の数 \div 人数 = 1人分の数 と考え、わりきれない分をあまりにします。答えをもとめたらたしかめましょう。
 たしかめ… $9 \times 4 + 2 = 38$ もとの数の38まいになれば、答えは正しいといえます。

びっぴり1 じゃんび

42 ページ

- 1 1、7
 2 1、5

びっぴり2 練習

43 ページ

てびき

- 1 式 $52 \div 6 = 8$ あまり4
 $8 + 1 = 9$ 答え 9箱
 2 式 $34 \div 7 = 4$ あまり6
 $4 + 1 = 5$ 答え 5こ
 3 式 $50 \div 9 = 5$ あまり5
 $5 + 1 = 6$ 答え 6台め

- 1 6本ずつ入れると、箱の数は8、あまったえん筆の数は4です。あまったえん筆を入れる箱がもう1箱いるので、全部で9箱になります。
 2 7こずつ入れると、かごの数は4、あまったみかんの数は6です。あまったみかんを入れるかごがもう1こいるので、全部で5こになります。
 3 前から45人めの人が5台めに乗ります。だから、さくらさんまでの5人は次の6台めに乗ることになります。

おうちのみなへ

余りをどう処理するかは、日常生活での課題となります。日常生活を算数の場面に生かし、考えさせましょう。

1 ①6あまり2 ②5あまり3

2 ①8あまり1 ②9あまり2
③5あまり2 ④7あまり1
⑤8あまり3 ⑥6あまり2
⑦7あまり2 ⑧9あまり4

3 式 $40 \div 6 = 6$ あまり4
答え 6箱できて、4こあまる。

4 式 $55 \div 9 = 6$ あまり1
答え 6本

5 式 $38 \div 5 = 7$ あまり3
 $7 + 1 = 8$ 答え 8まい

6 式 $23 \div 4 = 5$ あまり3
 $5 + 1 = 6$ 答え 6台め

ぼんぼん

1 (1)①1 ②1、2 ③1、3 ④1、4
⑤1、5 ⑥1、6 ⑦2、0
(2)4、2、月曜日

1 ①あまりはかならずわる数より小さくなります。
②わる数と答えをかけて、わられる数より大きくなったらまちがいです。

2 わる数のだんの九九を使って計算して、あまりもわすれないようにしましょう。また、答えのたしかめをすると、まちがいがへります。

① $2 \times 8 + 1 = 17$ ② $7 \times 9 + 2 = 65$
③ $6 \times 5 + 2 = 32$ ④ $3 \times 7 + 1 = 22$

3 $\frac{\text{全部の数}}{\text{1箱分の数}} = \text{できる箱の数}$ と考え、わりきれない分をあまりにします。

4 $\frac{\text{全体の長さ}}{\text{1本分の長さ}} = \text{できる本数}$ と考え、あまりはいれません。

5 あまった3本を入れるふくろがもう1まいいるので、ふくろは8まいあります。

6 前から20人めの人が5台めに乗りま^のす。だから、ゆかさまでの3人は次の6台めに乗りま^のす。

1 月曜日の日にちを7でわると、
 $2 \div 7 = 0$ あまり2 $9 \div 7 = 1$ あまり2
 $16 \div 7 = 2$ あまり2となり、30日と同じように、あまりが2になります。

おうちのがたへ 1の余りのあるカレンダーの問題は、思考に適した問題ですし、中学入試でもよく出題されます。ほかの問題集で何題か学習させ、余りのある問題の解き方をここでおさえておきましょう。

算数ワールド

1 式 $50 \div 5 = 10$
 $10 + 1 = 11$ 答え 11

2 (1)式 $9 - 1 = 8$
 $8 \times 8 = 64$ 答え 64

(2)式 $80 \div 8 = 10$
 $10 + 1 = 11$ 答え 11

3 式 $60 \div 3 = 20$ 答え 20

4 休けいを3回するので、1度につづけて歩く回数は4回です。
式 $3 + 1 = 4$
 $12 \div 4 = 3$ 答え 3km

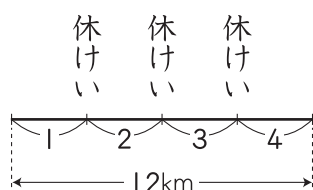
1 問題文の「はしからはしまで」というところに気をつけましょう。右と左のはしにも木を植えるので、間の数より木の数は1本多くなります。

2 (1)さくらの木が9本なので、1本めと9本めの間の数は8ことなります。

(2)80 mの中に8mがいくつあるかをもとめます。このとき、間の数+1=木の本数になります。

3 木を、池のまわりにぐるっと植えるとき、木の本数=木の間の数となります。

4 休けいを3回入れるので、1度に歩く回数は、右の図のように4回になります。



5 ^{しき}式 $37 - 16 + 1 = 22$ 答え 22人

6 (1)式 $6 - 1 = 5$
 $4 \times 5 = 20$ 答え 20m
 (2)式 $10 - 1 = 9$
 $4 \times 9 = 36$ 答え 36m

5 2人を入れて何人か?というときも、左右のはじに木を植えるときと同じで、1をたします。
 (最後の数) - (最初の数) + 1 となります。

6 くいの打ちははじめから数えていきます。
 (くいとくいとの間の数) = (打った本数) - 1 となります。

🏠 家の5分レッスン ^{うえきざん}植木算は、1本道に木を植える場合、(はしの木の数) = (間の数) + 1 となり、池のまわりのようにつながっている場合は、(木の数) = (間の数) となります。^{もんだい}問題ごとにこの関係をチェックしましょう。

8 10000 より大きい数

ぴったり1 **じゃんび** 48 ページ

- 1 六千、二万
 2 (1) < (2) =
 3 ①1000 ②4000 ③7000 ④27000

ぴったり2 **練習** 49 ページ

- 1 ①二万四千七百九十三
 ②百七十万三千五百
 2 ①39256 ②83081004 ③58070000
 3 ① > ② =
 4 ㉠6000 ㉡17000 ㉢23000

てびき

- 1 ①2は一万の位くらひの数です。
 2 ②十万の位の0を書き落とさないよう気をつけましょう。
 3 ①9000 + 20000 = 29000
 ②50万 - 30万 = 20万なので、20万 = 20万
 4 10000を10等分とうぶんしているの、1めもりは1000あらかを表しています。

🏠 おうちのかたへ 2つの数の大きさを比べる場合、次のことに注意させましょう。
 ①けた数が違う場合 → けた数の多い数の方が大きい数となります。
 ②けた数が同じ場合 → 大きい位の数から順に大きさを比べていきます。

ぴったり1 **じゃんび** 50 ページ

- 1 100000000
 2 120、1200
 3 38

ぴったり2 **練習** 51 ページ

- 1 ①100000000
 ②10、大きい
 2 ①600 ②1350
 ③5400 ④9000

てびき

- 1 ①1めもりは1を表しています。
 99999995より5大きい数なので、位が1つ上がって、100000000になります。0の数に注意して答えましょう。
 2 10倍した数は、もとの数の右はしに0を1つつけた数になります。
 ①60の右はしに0を1つつけて 600
 ②135の右はしに0を1つつけて 1350
 ③540の右はしに0を1つつけて 5400
 ④900の右はしに0を1つつけて 9000

- 3 ①1900、19000
 ②70000、700000
 ③42000、420000
 ④300万、3000万

- 4 ①3 ②80 ③96 ④100万

- 3 100倍することは、10倍した数をさらに10倍するので、0を2つつけることになります。1000倍することは、100倍した数をさらに10倍、つまり、0を3つつけることになります。
- ①19の100倍は右はしに0を2つつけて1900
 1000倍は0を3つつけて19000
- ②700の100倍は右はしに0を2つつけて70000
 1000倍は0を3つつけて700000
- ③420の100倍は右はしに0を2つつけて42000
 1000倍は0を3つつけて420000
- ④3万の100倍は3の右はしに0を2つつけて300万 または、3万を30000として、3000000と答えてもよいです。
 1000倍は0を3つつけて3000万

- 4 一の位くわいに0がある数を10でわるときは、一の位の0をとります。
- ①30の一の位の0をとって3
 ②800の一の位の0をとって80
 ③960の一の位の0をとって96
 ④1000万の1000の0をとって100万
 または、1000万を10000000として、1000000と答えてもよいです。このとき、0の数ちゆういに注意しましょう。

つなぐ3 たしかめのテスト

52~53 ページ

てびき

- 1 ①45679038 ②6020507
 ③40020000 ④99999
 ⑤500000 ⑥100000000

- 1 ①の百の位、②の十万の位、千の位、十の位の0を落とすことが多いので気をつけましょう。何も無い位には0をわすれずに書きましょう。
- ③1000万が4こで4000万、1万が2こで2万です。それぞれ数字あらいで表すと、
- 4000万 → 400000000
 2万 → 20000
- あわせて、40020000となります。
- ④まちがえないために、10万を数字で書いてからたしかめてみましょう。
- 10万 → 100000
 99999 } 位が1つ下がります。
- ⑤50を 5×10 と考えます。
 10000が5こで50000なので、50000の10倍の数は、右はしに0を1つつけて、500000となります。

- 2 ①あ3000 ②い14000
③う78500 ④え80000

- 3 ①< ②> ③= ④<

- 4 ①10倍…8500
100倍…85000
1000倍…850000
10でわった数…85
②10倍…40万
100倍…400万
1000倍…4000万
10でわった数…4000

- 5 ①6000 ②80000 ③76 ④100

⑥1000万を数字で書いてたしかめましょう。
1000万 → $\begin{array}{|cccccccc|} \hline 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ \hline \end{array}$ 10倍すると位が
 $\begin{array}{|cccccccc|} \hline 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ \hline \end{array}$ 1つ上がります。
100000000は、一億おおくといえます。

- 2 数直線では、まず1メモリがいくつを表しているかをたしかめます。

①1メモリは1000 ②1メモリは500

- 3 ① $2500 + 10000 = 12500$ なので、
 $12500 < 15200$ になります。

② $40000 + 9000 = 49000$ なので、
 $490000 > 49000$ になります。

③ $8000 + 2000 = 10000$ なので、等しい。

④ $7000万 - 3000万 = 4000万$
 $2000万 + 3000万 = 5000万$ なので、
 $4000万 < 5000万$ になります。

- 4 10倍した数は、0を1つ、100倍した数は、0を2つ、1000倍した数は、0を3つつけます。10でわった数は、一の位の0をとります。

①850の右はしに0を1つつけると8500

850の右はしに0を2つつけると85000

850の右はしに0を3つつけると850000

850の一の位の0をとると85

②4万 → 40000と書いてたしかめましょう。

40000の右はしに0を1つつけると
400000(40万)

40000の右はしに0を2つつけると
4000000(400万)

40000の右はしに0を3つつけると
40000000(4000万)

40000の一の位の0をとると4000

- 5 ②76000より4000大きい数を考えます。

③76000を70000と6000に分けます。

10000は1000を10こあつめた数なので、

70000は1000を70こあつめた数です。

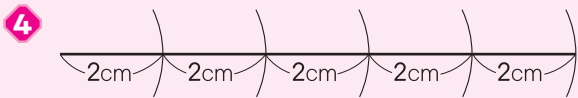
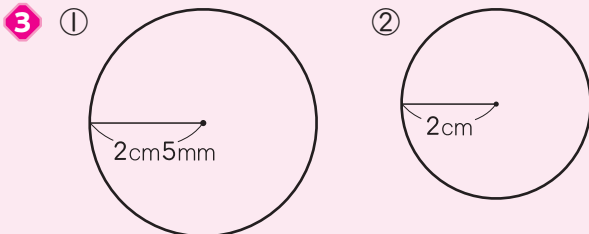
6000は1000を6こあつめた数なので、
70こと6ことで76こです。

④76000は、760に0を2つつけた数なので、
100倍した数です。

9 円と球

1 ①中心 ②10 ③6

2 ①5cm ②直線アエ



1 ②直径の長さは、半径の長さの2倍なので、
 $5 \times 2 = 10$ で10cmになります。

③半径の長さは、直径の長さの半分なので、
 $12 \div 2 = 6$ で6cmになります。

2 ①円の直径は、正方形の辺の長さの10cmと等しいので、半径は $10 \div 2 = 5$ (cm) になります。

②円の中心を通る直線がいちばん長くなります。

3 ①コンパスを2cm5mmの長さに開きます。

②直径は4cmなので、円の半径は2cmです。
コンパスを2cmの長さに開いて、円をかきます。中心のはりがずれないようにしっかりさしましょう。

4 コンパスを2cmの長さに開いて、線の左はしにはりをさして1つめの区切りをつけます。

次に、区切りの上にはりをさして、2つめの区切りをつけます。これをくりかえしていきます。

しあげの5分レッスン 2のように、正方形の中に円がぴったり入っているとき、正方形の1つの辺の長さと円の直径は等しくなります。

1 2倍、8

2 (1)円 (2)中心、半径、直径
(3)アイ、アウ (4)3、3

1 ①

2 ①円
②球を半分に切ったとき

3 ①4cm ②2cm

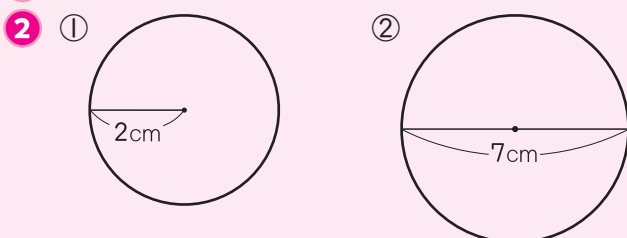
1 どこから見ても円に見えるものをさがしましょう。

2 ①球はどこを切っても、切り口は円になります。
②半径がもっとも長くなる場合を考えましょう。

3 ①ボールの直径の長さの3こ分が、12cmになります。ボールの直径は、 $12 \div 3 = 4$ で4cmになります。

②ボールの半径は、直径の長さの半分なので、
 $4 \div 2 = 2$ で2cmになります。

1 ①半径 ②中心、2 ③円 ④半径



1 それぞれの言葉の意味をきちんとおさえましょう。

2 コンパスを開いた長さが半径となります。

①コンパスを2cmに開きます。

②円をかくには、半径の長さをもとめます。直径が7cmなので、コンパスを3cm5mmに開きます。

3 ㊦ 18 cm ㊩ 6 cm

4 ① 8 cm ② 4 cm

5 ① 2 cm ② 1 cm

6 ① 8 cm ② 32 cm

3 ㊦円の半径の長さの6こ分が、長方形の㊦の長さになります。

㊦の長さは、 $3 \times 6 = 18$ で18 cmになります。

㊩円の直径の長さが、長方形の㊩の長さになります。㊩の長さは、 $3 \times 2 = 6$ で6 cmになります。

4 ①大きい円の直径は16 cmなので、半径は $16 \div 2 = 8$ で8 cmになります。

②小さい円の直径は、 $16 \div 2 = 8$ (cm)、半径は直径の長さの半分なので、8 cmの半分で4 cmになります。

5 ①箱と箱の間のもものさしのめもりをよみます。

②半径の長さは、直径の長さの半分なので、 $2 \div 2 = 1$ で1 cmになります。

6 ①球の形をしたお菓子の直径の長さの3こ分が、24 cmになります。お菓子の直径は、 $24 \div 3 = 8$ で8 cmになります。

②お菓子の直径の4こ分が、たての長さになります。たての長さは、 $8 \times 4 = 32$ で32 cmとなります。

10 かけ算の筆算

びっぴり1 じゃんび

60 ページ

1 (1)82 (2)51

2 (1)426 (2)108

びっぴり2 練習

61 ページ

てびき

1 ① $\begin{array}{r} 32 \\ \times 3 \\ \hline 96 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 46 \\ \times 2 \\ \hline 92 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 14 \\ \times 5 \\ \hline 70 \end{array}$

2 ① 184 ② 249 ③ 536 ④ 343 ⑤ 304
⑥ 145

3 式 $38 \times 4 = 152$ 答え 152人

4 式 $25 \times 8 = 200$ 答え 200円

1 ②十の位にくり上がった1をたしわすれないように注意しましょう。

2 ① $\begin{array}{r} 92 \\ \times 2 \\ \hline 184 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 83 \\ \times 3 \\ \hline 249 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 67 \\ \times 8 \\ \hline 536 \end{array}$
④ $\begin{array}{r} 49 \\ \times 7 \\ \hline 343 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 76 \\ \times 4 \\ \hline 304 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 29 \\ \times 5 \\ \hline 145 \end{array}$

3 $\boxed{1}$ 台のバスの乗れる人数 \times $\boxed{\text{台数}}$
= $\boxed{\text{乗れる全部の人数}}$ と考えます。

4 $\boxed{1}$ まいのねだん \times $\boxed{\text{買ったまい数}} = \boxed{\text{代金}}$ です。

おうちのみなへ かけ算の筆算で注意すべき点は、次の2点です。

①位をたてにそろえて書き、答えの位も間違えないようにします。

②くり上げた数をたすことを忘れないようにします。

びっぴり1 じゃんび

62 ページ

1 2、549

2 20、104

①
$$\begin{array}{r} 243 \\ \times 2 \\ \hline 486 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 482 \\ \times 3 \\ \hline 1446 \end{array}$$

- ② ①264 ②895 ③2484
④2072 ⑤1608 ⑥4760

- ③ ①86 ②48 ③224 ④350

④ 式 $980 \times 2 = 1960$ 答え 1960円

- ① 2けたの数にかける筆算と同じように位をそろえて書いてから計算します。

② ①
$$\begin{array}{r} 132 \\ \times 2 \\ \hline 264 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 179 \\ \times 5 \\ \hline 895 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 621 \\ \times 4 \\ \hline 2484 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 518 \\ \times 4 \\ \hline 2072 \end{array}$$
 ⑤
$$\begin{array}{r} 201 \\ \times 8 \\ \hline 1608 \end{array}$$
 ⑥
$$\begin{array}{r} 680 \\ \times 7 \\ \hline 4760 \end{array}$$

- ③ 筆算を使わずに、答えが出せるようにしましょう。

①43を40と3に分けて計算します。

$40 \times 2 = 80$ $3 \times 2 = 6$

80と6をあわせて86となります。

②16を10と6に分けて計算します。

$10 \times 3 = 30$ $6 \times 3 = 18$

30と18をあわせて48となります。

④ 70×5 は 7×5 の10倍と考えて、 $7 \times 5 = 35$
35の10倍で、 $70 \times 5 = 350$ です。

一の位の0をわすれないようにしましょう。

④ $1\text{mのねだん} \times \text{買った長さ} = \text{代金}$ と考えます。

一の位の計算は、 $0 \times 2 = 0$ なので、十の位から計算して、答えに0を1つつけてもよいです。

$98 \times 2 = 196$ なので、 $980 \times 2 = 1960$

① ①
$$\begin{array}{r} 52 \\ \times 4 \\ \hline 208 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 604 \\ \times 2 \\ \hline 1208 \end{array}$$

② ①
$$\begin{array}{r} 17 \\ \times 4 \\ \hline 68 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 31 \\ \times 5 \\ \hline 155 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 95 \\ \times 7 \\ \hline 665 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 46 \\ \times 9 \\ \hline 414 \end{array}$$
 ⑤
$$\begin{array}{r} 84 \\ \times 6 \\ \hline 504 \end{array}$$
 ⑥
$$\begin{array}{r} 58 \\ \times 4 \\ \hline 232 \end{array}$$

- ③ ①826 ②558 ③4125 ④2952
⑤2812 ⑥2030

- ① 「四二が8」の8を一の位、「四五20」の0を十の位、2を百の位に書きます。

② 「二四が8」の8を一の位、「二れいが0」の0を十の位、「二六12」の2を百の位、1を千の位に書きます。

- ② 位をきちんとそろえて書きましょう。

- ③ かけられる数が3けたでも、一の位からじゅんに、くり上がりに注意して計算します。

①
$$\begin{array}{r} 413 \\ \times 2 \\ \hline 826 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 186 \\ \times 3 \\ \hline 558 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 825 \\ \times 5 \\ \hline 4125 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 369 \\ \times 8 \\ \hline 2952 \end{array}$$
 ⑤
$$\begin{array}{r} 703 \\ \times 4 \\ \hline 2812 \end{array}$$
 ⑥
$$\begin{array}{r} 290 \\ \times 7 \\ \hline 2030 \end{array}$$

4 ①48 ②249 ③75 ④74 ⑤84 ⑥70

5 式 $664 \times 7 = 4648$ 答え 4648円

6 式 $314 \times 4 = 1256$ $1256 \text{ m} = 1 \text{ km } 256 \text{ m}$
答え 1 km 256 m

7 式 $65 \times 4 = 260$
 $260 \times 5 = 1300$ 答え 1300円

ぼん

1 ①15000 ②7284

4 ①12を10と2に分けて計算します。

$$10 \times 4 = 40 \quad 2 \times 4 = 8$$

40と8をあわせて48となります。

②83を80と3に分けて計算します。

$$80 \times 3 = 240 \quad 3 \times 3 = 9$$

240と9をあわせて249となります。

③15を10と5に分けて計算します。

$$10 \times 5 = 50 \quad 5 \times 5 = 25$$

50と25をあわせて75となります。

5 $\boxed{1 \text{箱のねだん}} \times \boxed{\text{買った数}} = \boxed{\text{代金}}$ と考えます。

答えは筆算でもとめましょう。

6 1256 mと答えないように注意しましょう。

7 まず1箱分のねだんをもとめます。

$$65(\text{円}) \times 4(\text{こ}) = 260(\text{円})$$

これの5つ分だから、

$$260(\text{円}) \times 5(\text{箱}) = 1300(\text{円})$$

1 ① $3 \times 5 = 15$ ② 3642

$$\begin{array}{r} 3 \times 5 = 15 \\ \downarrow 1000 \text{ 倍} \quad \downarrow 1000 \text{ 倍} \\ 3000 \times 5 = 15000 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3642 \\ \times 2 \\ \hline 4 \\ 80 \\ 1200 \\ 6000 \\ \hline 7284 \end{array}$$

11 重さ

びんり 1 **じゃんび** 66 ページ

- 1 10、350
- 2 g、1、700
- 3 1、300

びんり 2 **練習** 67 ページ

- 1 30 g
- 2 ①780 g ②3kg 400 g(3400 g)
- 3 1 kg 50 g

てびき

- 1 1gの30こ分なので、30gになります。
- 2 1メモリの大きさに注意しましょう。
①1メモリは10g ②1メモリは100gです。
- 3 あわせた重さなので、 $200 \text{ g} + 850 \text{ g} = 1050 \text{ g}$
1050gは1000gと50gをあわせた重さです。単位をなおすときはとくに注意しましょう。
1kg=1000gなので、1050g=1kg 50g。

4 2 kg 200 g

4 まず、はかりを見て重さをたしかめます。
かごの重さを入れて2 kg 700 g だから、かごの重さをひけばりんご 10 こ分の重さになります。かごの重さは 500 g なので、
 $2\text{ kg } 700\text{ g} - 500\text{ g} = 2\text{ kg } 200\text{ g}$ となります。

ぴったり1 **じゃんび** 68 ページ

| | キロ k | | | | デシ d | センチ c | ミリ m |
|----|---------|---------|--------|-----|---------|----------|---------|
| 重さ | 1 kg | (100 g) | (10 g) | 1 g | | | |
| 長さ | 1 km | (100 m) | (10 m) | 1 m | | 1 cm | 1 mm |
| かさ | | (100 L) | (10 L) | 1 L | 1 dL | | 1 mL |

2 (1)1000 (2)1000

3 2000

ぴったり2 **練習** 69 ページ

てびき

1 ①1000 ②1000 ③10 ④100 ⑤100

2 ①100 ②1000 ③10 ④1000
⑤1000

3 ①5000 ②4 ③10000

1 ①1 kg は 1 g の 1000 倍です。
②1 km は 1 m の 1000 倍です。
③1 L は 1 dL の 10 倍です。
④1 km は 10 m の 100 倍です。
⑤1 kg は 10 g の 100 倍です。

2 ①1 m は 1 cm を 100 こあつめた長さです。
②1 kg は 1 g を 1000 こあつめた重さです。
③1 L は 1 dL を 10 こあつめたかさです。
④1 m は 1 mm を 1000 こあつめた長さです。
⑤1 L は 1 mL を 1000 こあつめたかさです。

3 1 t = 1000 kg をもとに考えます。
①1 t = 1000 kg ②1000 kg = 1 t
 ↓ 5倍 ↓ 5倍 ↓ 4倍 ↓ 4倍
 5 t = 5000 kg 4000 kg = 4 t

③10 t は 1 t の 10 倍なので、1000 kg の 10 倍で 10000 kg になります。

ぴったり3 **なしかめのテスト** 70~71 ページ

てびき

1 ①1メモリ…10 g、重さ…90 g
②1メモリ…100 g、重さ…400 g
③1メモリ…10 g、重さ…710 g
④1メモリ…100 g、重さ…2 kg 800 g

2 ①g ②kg ③t

3 ①3000 g ②4700 g ③2 kg 830 g
④1 kg 97 g

1 数字が書かれているメモリから、1メモリが何gを表しているかを調べます。
①③200 g が 20 等分されています。
②④1 kg が 10 等分されています。

2 身のまわりの物を思いうかべて、どんな単位になるか考えましょう。

3 1 kg = 1000 g をもとに考えます。
②4 kg は 4000 g なので、4000 g と 700 g で 4700 g になります。
③2000 g は 2 kg なので、2 kg 830 g です。
④1000 g は 1 kg なので、1 kg 97 g になります。

④ 式 $900\text{g} - 150\text{g} = 750\text{g}$ 答え 750g

⑤ 式 $1\text{kg} 800\text{g} - 700\text{g} = 1\text{kg} 100\text{g}$
 答え $1\text{kg} 100\text{g}$

⑥ 式 $350\text{g} \times 4 = 1400\text{g}$
 $1400\text{g} = 1\text{kg} 400\text{g}$
 答え $1\text{kg} 400\text{g}$

- ⑦ ① 1 ② 2 ③ 5

④ 全体の重さから入れ物の重さをひいて、さとうの重さをもとめます。

⑤ まず、はかりのメモリをよんでそれぞれの重さを調べます。かごだけの重さは 700g 、かごに入ったボールの重さは $1\text{kg} 800\text{g}$ です。かごに入ったボールの重さから、かごだけの重さをひけば、ボールだけの重さになります。

⑥ 同じ重さの4つ分の重さをもとめるので、かけ算を使います。何 kg 何 g と聞いているので、 1400g としないように注意しましょう。

⑦ 身近にあるものの長さ、重さをはかってみましょう。

🕒 あげの5分レッスン ③の問いのように、重さや長さ、かさの単位を書くときは、もとにする単位の何倍になるかを考えます。「 k 」は1000倍、「 mm 」、「 mL 」は $\frac{1}{1000}$ の大きさです。このチェックだけで、単位のしくみが理かいてできるので、この単元全部をチェックしてみましょう。

12 分数

ぴったりに1 じゃんび

72 ページ

① $\frac{2}{5}$

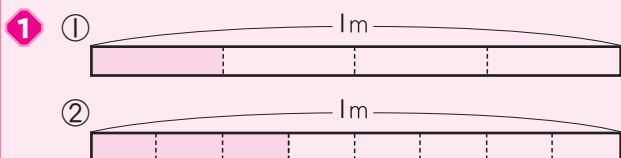
② $\frac{3}{4}$

③ (1) < (2) <

ぴったりに2 練習

73 ページ

てびき



② ① $\frac{4}{5}$ ② 4 ③ 1

③ ① $\frac{6}{7}$ ② $\frac{4}{10}$ ③ 1 ④ 1

① ① $\frac{1}{4}\text{m}$ は $\frac{1}{4}\text{m}$ の1こ分なので、メモリの1こ分をぬります。

② $\frac{3}{8}\text{m}$ は $\frac{1}{8}\text{m}$ の3こ分なので、メモリの3こ分をぬります。

② ① $\frac{1}{5}\text{g}$ を4こあつめた重さは、 $\frac{4}{5}\text{g}$ です。

② $\frac{4}{7}\text{m}$ は $\frac{1}{7}\text{m}$ を4こあつめた長さです。

③ $\frac{1}{2}\text{L}$ の2こ分のかさと 1L は同じになります。

③ ① $\frac{5}{7}$ は $\frac{1}{7}$ が5こ分、 $\frac{6}{7}$ は $\frac{1}{7}$ が6こ分なので、 $\frac{6}{7}$ のほうが大きいです。

③ 分数の分母と分子が同じ数のときは、1です。

④ 1 は $\frac{1}{4}$ が4こ分、 $\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ が3こ分なので、1のほうが大きいです。

④ ① < ② = ③ > ④ >

- ④ ① $\frac{9}{10}$ は $\frac{1}{10}$ が9こ分なので、 $\frac{1}{10} < \frac{9}{10}$ です。
 ② 1 は $\frac{10}{10}$ なので、 $1 = \frac{10}{10}$ となります。
 ③ $\frac{9}{8}$ は $\frac{1}{8}$ が9こ分、 $\frac{7}{8}$ は $\frac{1}{8}$ が7こ分なので、 $\frac{9}{8} > \frac{7}{8}$ となります。
 ④ $\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ が3こ分なので、 $\frac{3}{4} > 0$ となります。

ぴったり1 **じゃんび** 74 ページ

- ① 1
 ② $\frac{1}{3}$

ぴったり2 **練習** 75 ページ

てびき

- ① ① $\frac{2}{3}$ ② $\frac{6}{9}$ ③ $\frac{7}{8}$ ④ $\frac{5}{6}$ ⑤ 1 ⑥ 1

- ② ① $\frac{4}{7}$ ② $\frac{2}{5}$ ③ $\frac{6}{10}$ ④ $\frac{1}{9}$ ⑤ $\frac{1}{6}$ ⑥ $\frac{4}{8}$

③ ①式 $\frac{2}{7} + \frac{3}{7} = \frac{5}{7}$ 答え $\frac{5}{7}$ L
 ②式 $\frac{3}{7} - \frac{2}{7} = \frac{1}{7}$ 答え $\frac{1}{7}$ L

- ① ① $\frac{1}{3}$ をもとにして考えると、 $\frac{1}{3}$ が(1+1)こ分。
 ② $\frac{1}{9}$ をもとにして考えると、 $\frac{1}{9}$ が(4+2)こ分。
 ⑤ $\frac{1}{7}$ をもとにして考えると、 $\frac{1}{7}$ が(4+3)こ分
 で、 $\frac{7}{7} = 1$ となります。
 ⑥ $\frac{1}{10}$ をもとにして考えると、 $\frac{1}{10}$ が(5+5)こ
 分で、 $\frac{10}{10} = 1$ となります。
 ② ① $\frac{1}{7}$ をもとにして考えると、 $\frac{1}{7}$ が(5-1)こ分。
 ② $\frac{1}{5}$ をもとにして考えると、 $\frac{1}{5}$ が(4-2)こ分。
 ⑤⑥ 1 を分数あわで表します。
 ⑤ $1 = \frac{6}{6}$ なので、 $\frac{6}{6} - \frac{5}{6}$ を計算します。
 $\frac{1}{6}$ が(6-5)こ分で、 $\frac{1}{6}$ となります。
 ⑥ $1 = \frac{8}{8}$ なので、 $\frac{8}{8} - \frac{4}{8}$ を計算します。
 $\frac{1}{8}$ が(8-4)こ分で、 $\frac{4}{8}$ となります。
 ③ あわせたかさはたし算でもとめ、ちがいはかさの
 多いほうから少ないほうをひいてもとめます。

6 $\frac{6}{10} + \frac{2}{10} = \frac{8}{10}$
 $\frac{8}{10} - \frac{3}{10} = \frac{5}{10}$

答え $\frac{5}{10}$ L

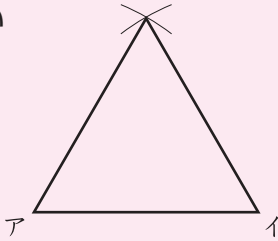
6 はじめに、ポットに入れた水のかさをもとめます。
 $\frac{6}{10} + \frac{2}{10} = \frac{8}{10}$ で、 $\frac{8}{10}$ L 入っています。
 ここから使ったかさ^{つか}をひくと、のこりのかさ^{のこり}がもとめられます。 $\frac{8}{10} - \frac{3}{10} = \frac{5}{10}$ です。

13 三角形

びんびん 1 じゃんび

78 ページ

- 1 ①、3、②
 2 等しい



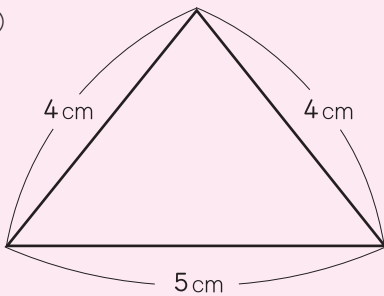
びんびん 2 練習

79 ページ

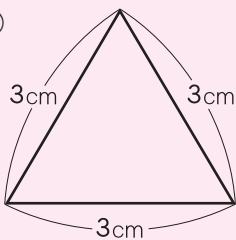
てびき

- 1 にとうへんさんかくけい 二等辺三角形...① せいさんかくけい 正三角形...②

- 2 ①



- ②

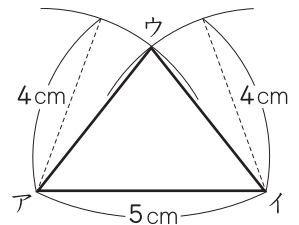


- 3 二等辺三角形

1 コンパスで辺の長さをはかります。二等辺三角形は2つの辺の長さが等しくなっている三角形、正三角形は3つの辺の長さがすべて等しくなっている三角形です。

2 ①二等辺三角形は、次のようにしてかきます。

5cmの長さの辺アイをかきます。ア、イを中心にして、半径^{はんけい}4cmの円をそれぞれかきます。コンパスの線が交わった点ウとア、イの点をそれぞれ直線でおすびます。



②正三角形のかき方も、二等辺三角形と同じです。

3 おり紙をアイの線で切って開くと、2つの辺の長さが等しくなっている三角形ができるので、二等辺三角形です。

びんびん 1 じゃんび

80 ページ

- 1 辺、②
 2 二等辺三角形
 3 3、③、④

1 ①か ②き ③く

2 い、う、あ

3 ①い、正三角形 ②あ、二等辺三角形

1 ^{かさ}重ねると下のようになります。

①かの角のほうが大きい角です。

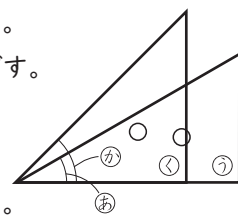
②二等辺三角形なので、
^{にとうへんさんかくけい}

かときの角は等しい。
^{ひと}

③うとくはどちらも直角です。

2 辺の開き方が大きいほど角も大きくなります。

3 あは2つの辺の長さが等しい三角形なので、二等辺三角形です。二等辺三角形は2つの角の大きさが等しくなっています。またいはいは3つの辺の長さが等しい三角形なので、正三角形です。正三角形は3つの角の大きさがすべて等しくなっています。

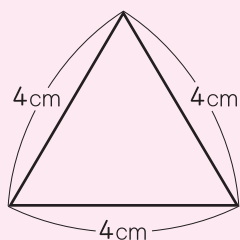


しあげの5分レッスン 二等辺三角形や正三角形には、辺の長さが等しいだけでなく、角の大きさが等しいことも問われます。それらをチェックし、三角形がどちらがうのかを調べましょう。

1 二等辺三角形…う、お 正三角形…あ、え

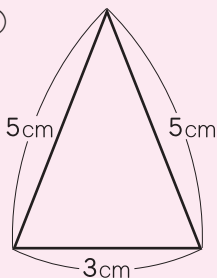
2 ①2cm ②4cm

3 ①



正三角形

②



二等辺三角形

4 ①あ、え、お ②し、そ

③(1)…二等辺三角形、(2)…正三角形

1 コンパスを使^{つか}って、辺の長さをくらべましょう。

2 ①正三角形は、3つの辺の長さがすべて等しい三角形なので、あの長さもほかの辺と同じです。

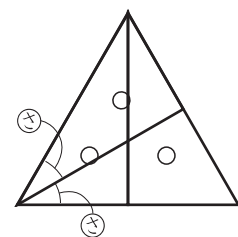
②二等辺三角形は、2つの辺の長さが等しい三角形なので、2cmか4cmのどちらかの辺と等しい長さです。図を見ると、4cmです。

3 ①3つの辺の長さが等しい三角形なので、正三角形です。

②2つの辺の長さが等しい三角形なので、二等辺三角形です。

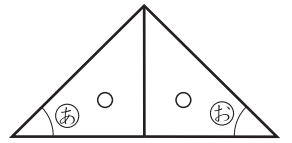
4 (1)、(2)とも同じ形の三角^{さんかく}
定規^{じょうぎ}を2つ組みあわせた
ものです。

②右の図のように、しと
そは、さの角の2つ分
の大きさです。

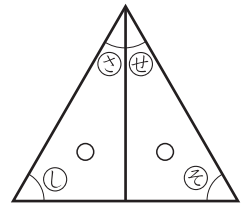


- 5 ①12 cm ②13 cm

③(1)は、**あ**と**お**の角の大きさが同じなので、2つの角の大きさが等しくなっている三角形といえます。



(2)は、**さ**+**せ**の角の大きさと、**し**、**そ**の角の大きさが等しいので、3つの角の大きさがすべて等しくなっている三角形といえます。



- 5 ①正三角形は3つの**辺**の長さがすべて等しい三角形なので、1つの**辺**の長さは、まわりの長さ36 cmを3等分した長さです。
 $36 \div 3 = 12$ で12 cmになります。
- ②二等辺三角形は、2つの**辺**の長さが等しい三角形なので、はじめに、まわりの長さ36 cmから10 cmをひいて、のこりの長さを2等分すると、等しい2つの**辺**の長さがもとめられます。
 $36 - 10 = 26$ (cm)、 $26 \div 2 = 13$ でのこりの2つの**辺**の長さは13 cmになります。

14 □を使った式と図

びっぴり1 じゃんび 84 ページ

- 1 ①11 ②21 ③10 ④10
 2 ①8 ②7 ③56 ④56

びっぴり2 練習 85 ページ

- 1 **式** $7 + \square = 15$ **答え** 8こ
- 2 ①37 ②11 ③27 ④50
- 3 **式** $\square \times 4 = 84$ **答え** 21こ
- 4 ①6 ②9 ③64 ④54

てびき

- 1 **も** 持っていた数 + **もら** もらった数 = **ぜんぶ** 全部の数 と考えます。もらった数を□として、上の式にあてはめます。□は、 $15 - 7 = 8$ でもとめられます。
- 2 ① $52 - 15 = 37$ ② $90 - 79 = 11$
 ③ $19 + 8 = 27$ ④ $46 + 44 = 50$
- 3 **はこ** |箱のクッキーの数| × |箱の数| = **全部の数** です。
 |箱のクッキーの数|を□として、上の式にあてはめると、□は、 $84 \div 4 = 21$ でもとめられます。
- 4 ① $42 \div 7 = 6$ ② $81 \div 9 = 9$
 ③ $8 \times 8 = 64$ ④ $9 \times 6 = 54$

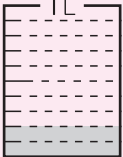

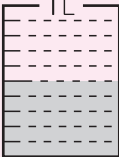
おうちのがたへ たし算とひき算、かけ算とわり算は、逆算の関係にあることを理解させましょう。

- 1 ①あ 15-8 ②い 7+8 ③う 8 ④え 8
 ⑤あ 18÷3 ⑥い 6×3 ⑦う 3 ⑧え 3
- 2 ①42 ②16 ③45 ④71 ⑤6 ⑥4
 ⑦21 ⑧10
- 3 ①□-23=26 ②49
- 4 ①6×□=24 ②4
- 5 ①え、36 ②い、15 ③う、4 ④あ、9

- 1 ①たし算とひき算の関係を思い出しましょう。
 ②かけ算とわり算の関係を思い出しましょう。
- 2 ①67-25=42 ②64-48=16
 ③29+16=45 ④12+59=71
 ⑤24÷4=6 ⑥28÷7=4
 ⑦3×7=21 ⑧5×2=10
- 3 ① **もとの数** - **食べた数** = **のこりの数** と考えます。
 もとの数を□として上の式にあてはめます。
 ②□にあてはまる数は、26+23=49
- 4 ① **1人分の数** × **人数** = **全部の数** と考えます。
 人数を□として、上の式にあてはめます。
 ②□にあてはまる数は、24÷6=4
- 5 ① **全部の数** ÷ **人数** = **1人分の数** の関係になります。
 □にあてはまる数は、12×3=36
 ② **全部の数** - **あげた数** = **のこりの数** の関係になります。
 □にあてはまる数は、12+3=15
 ③ **1人分の数** × **人数** = **全部の数** の関係になります。
 □にあてはまる数は、12÷3=4
 ④ **はじめの数** + **もらった数** = **全部の数** の関係になります。
 □にあてはまる数は、12-3=9

15 小数

- 1 3、0.4、3.4
 2 ①4 ②3 ③40 ④43

- 1 ①  ②  ③ 
- 2 ①0.9 cm ②6.2 cm ③12.1 cm

- 1 ①0.2 Lは0.1 Lの2こ分なので、メモリの2こ分をぬります。
 ②1.5 Lは1 Lと0.5 Lをあわせたかさなので、1 Lを全部と、もう一方は、0.1 Lのメモリ5こ分をぬります。
- 2 ①1 mmは、1 cmを10等分した1こ分なので、0.1 cmと表します。9 mmは1 mmの9こ分なので、0.9 cmになります。
 ②6 cm 2 mmですが、2 mm=0.2 cmより6.2 cmになります。
 ③12 cm 1 mm=12.1 cmです。

3 ①4、4 ②8、3 ③6.9 ④32.7

4 ①6.3 ②74.5

5 ①< ②> ③<

3 ①4.4 Lは4 Lと0.4 Lをあわせたかさです。

1 dL=0.1 Lなので、0.4 L=4 dLです。

②8.3 cmは8 cmと0.3 cmをあわせた長さです。1 mm=0.1 cmなので、0.3 cm=3 mmです。

③9 dLは、1 dL=0.1 Lより0.9 Lなので、6 Lと0.9 Lで6.9 Lです。

④7 mmは、1 mm=0.1 cmより0.7 cmなので、32 cmと0.7 cmで32.7 cmです。

4 ①1が6こで6、0.1が3こで0.3。

6と0.3で6.3になります。

②0.1が100こで10なので、0.1が700こで70です。0.1が40こで4、0.1が5こで0.5なので、70と4と0.5で74.5になります。

5 ①0.4は0.1が4こ、1.3は0.1が13こなので、1.3のほうが大きい数です。

②整数部分で大きさをくらべます。11と9では11のほうが大きいので、11.1のほうが大きい。

③0.5は0.1が5こです。0.5は何もないことを表す0より大きい数です。

びっぴり1 じゃんび

90 ページ

1 10

2 8.4

びっぴり2 練習

91 ページ

てびき

1 ①0.7 ②19.9 ③10.3 ④1.2 ⑤7
⑥30.3

2 ①
$$\begin{array}{r} 3.6 \\ +14.6 \\ \hline 18.2 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 59.9 \\ + 0.1 \\ \hline 60.0 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 228 \\ + 3.2 \\ \hline 231.2 \end{array}$$

3 ①5.1 ②12.5 ③0.8 ④8 ⑤2.8
⑥44.4

4 ①
$$\begin{array}{r} 3.4 \\ -0.8 \\ \hline 2.6 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 20.4 \\ - 7.7 \\ \hline 12.7 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 9 \\ -4.2 \\ \hline 4.8 \end{array}$$

1 位をたてにそろえて書き、整数のときと同じように計算します。答えの小数点は、上の小数点の位置にそろえてうちます。

⑤
$$\begin{array}{r} 2.6 \\ +4.4 \\ \hline 7.0 \end{array}$$
 ⑥
$$\begin{array}{r} 5.3 \\ +25.0 \\ \hline 30.3 \end{array}$$

2 ②小数点より右のさいごの0と小数点は消して、60とします。

③228は、228.0と考えて位をたてにそろえて計算します。

3 小数のひき算も、位をたてにそろえて書き、整数のときと同じように計算します。

④
$$\begin{array}{r} 9.5 \\ -1.5 \\ \hline 8.0 \end{array}$$
 ⑤
$$\begin{array}{r} 6.0 \\ -3.2 \\ \hline 2.8 \end{array}$$
 ⑥
$$\begin{array}{r} 52.0 \\ - 7.6 \\ \hline 44.4 \end{array}$$

4 ③9を9.0と考えて筆算をしましょう。右のようなまちがいに注意しましょう。
$$\begin{array}{r} 9 \\ -4.2 \\ \hline 4.7 \end{array}$$

1 ①1 ②4、2 ③2.9 ④80.5

2 ①10.9 ②6.7 ③10

3 ①> ②< ③> ④>

4 ①4.6 ②9.7 ③19.9 ④4.1 ⑤0.3
⑥0.1

5 ①10 ②40.8 ③134.7 ④4.8 ⑤40.2
⑥29.7

6 式 $3.7 + 0.3 = 4.0$ 答え 4kg

7 ①式 $3.8 + 1.7 = 5.5$ 答え 5.5 m
②式 $7 - 5.5 = 1.5$ 答え 1.5 m

1 ③ 1dL=0.1Lなので、9dL=0.9L。
2Lと0.9Lで2.9Lです。

④ 1mm=0.1cmなので、5mm=0.5cm。
80cmと0.5cmで80.5cmです。

2 ① 1が10こで10、0.1が9こで0.9。
10と0.9で10.9になります。

② 0.1が10こで1なので、0.1が60こで6に
なります。0.1が7こで0.7なので、6と0.7
で6.7です。

③ 0.1が10こで1
 $\begin{array}{c} 10 \text{ 倍} \downarrow \qquad \qquad \downarrow 10 \text{ 倍} \\ 0.1 \text{ が } 100 \text{ こで } 10 \end{array}$

3 ① 整数部分をくらべると、10と9なので、10.1
のほうが大きくなります。

② 0.1の10こ分が1なので、1のほうが大き
くなります。

③ 0.8を分数になおすと $\frac{8}{10}$ なので、0.8のほ
うが大きくなります。

④ 1.9を分数になおすと $\frac{19}{10}$ なので、1.9のほ
うが大きくなります。

4 ① $\begin{array}{r} 1.2 \\ +3.4 \\ \hline 4.6 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 9.1 \\ +0.6 \\ \hline 9.7 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 7.4 \\ +12.5 \\ \hline 19.9 \end{array}$

④ $\begin{array}{r} 4.3 \\ -0.2 \\ \hline 4.1 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 0.9 \\ -0.6 \\ \hline 0.3 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 8.2 \\ -8.1 \\ \hline 0.1 \end{array}$

5 ① 小数点より右のさいごの0と.(小数点)は消し
て10とします。

① $\begin{array}{r} 5.1 \\ +4.9 \\ \hline 10.0 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 6.8 \\ +34.0 \\ \hline 40.8 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 125.0 \\ +9.7 \\ \hline 134.7 \end{array}$

④ $\begin{array}{r} 7.3 \\ -2.5 \\ \hline 4.8 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 50.1 \\ -9.9 \\ \hline 40.2 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 36.0 \\ -6.3 \\ \hline 29.7 \end{array}$

6 $\boxed{\text{野さいの重さ}} + \boxed{\text{箱の重さ}} = \boxed{\text{全体の重さ}}$
と考えます。4.0の0と.(小数点)は消して4kg
と答えます。

7 ① 切り取った3.8mと1.7mのひもの長さをた
します。

② はじめの長さ7mから①でもとめた長さをひ
きます。

16 2けたの数のかけ算

びっぴり1 じゃんび 94 ページ

- 1 (1)8、80 (2)40、400
2 (1)63、630 (2)75、750

びっぴり2 練習 95 ページ

てびき

- 1 ①90 ②120 ③280 ④450 ⑤100
⑥540
- 2 ①240 ②960 ③320 ④540 ⑤920
⑥900
- 3 式 $8 \times 30 = 240$ 答え 240 こ
- 4 式 $14 \times 40 = 560$ 答え 560 こ

- 1 ① 3×30 の答えは、 3×3 の答えを10倍した数なので、 3×3 を計算して、答えの右はしに0を1つつけます。同じように、② 2×6 、③ 7×4 、④ 9×5 、⑤ 5×2 、⑥ 6×9 を計算して、答えの右はしに0を1つつけます。
- 2 ①と同じように考えて、① 12×2 、② 32×3 、③ 16×2 、④ 27×2 、⑤ 23×4 、⑥ 30×3 を計算して、答えの右はしに0を1つつけます。
- 3 1 箱分の数 \times 箱の数 = 全部の数 と考えます。答えをもとめるときは、 $8 \times 3 = 24$ と計算して、24の右はしに0を1つけて240とします。
- 4 答えをもとめるときは、 $14 \times 4 = 56$ と計算して、56の右はしに0を1つけて560とします。

びっぴり1 じゃんび 96 ページ

- 1 78、819
2 128、1376

びっぴり2 練習 97 ページ

てびき

- 1 ①
$$\begin{array}{r} 43 \\ \times 21 \\ \hline 43 \\ 86 \\ \hline 903 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 13 \\ \times 76 \\ \hline 78 \\ 91 \\ \hline 988 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 28 \\ \times 32 \\ \hline 56 \\ 84 \\ \hline 896 \end{array}$$
- 2 ①351 ②954 ③432
- 3 ①
$$\begin{array}{r} 63 \\ \times 47 \\ \hline 441 \\ 252 \\ \hline 2961 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 35 \\ \times 78 \\ \hline 280 \\ 245 \\ \hline 2730 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 84 \\ \times 32 \\ \hline 168 \\ 252 \\ \hline 2688 \end{array}$$

- 1 2けたの数に2けたの数をかける筆算も、今までと同じようにそれぞれの位をたてにそろえて計算します。
- 2 かける数の一の位の数、十の位の数をじゅんにかけて、それらの答えをたします。
- ①
$$\begin{array}{r} 27 \\ \times 13 \\ \hline 81 \\ 27 \\ \hline 351 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 18 \\ \times 53 \\ \hline 54 \\ 90 \\ \hline 954 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 36 \\ \times 12 \\ \hline 72 \\ 36 \\ \hline 432 \end{array}$$
- 3 とちゅうの計算が3けたになるかけ算です。くり上がりが多くなってくるので、くり上がった数のたし算をわすれないように気をつけましょう。

4 ①5037 ②828 ③3034

| | | | |
|-----|---|---|--|
| 4 ① | 73 | ② 18 | ③ 37 |
| | $\begin{array}{r} \times 69 \\ 657 \\ 438 \\ \hline 5037 \end{array}$ | $\begin{array}{r} \times 46 \\ 108 \\ 72 \\ \hline 828 \end{array}$ | $\begin{array}{r} \times 82 \\ 74 \\ 296 \\ \hline 3034 \end{array}$ |

おうちのかなへ まず位をそろえているかどうかと、2けたの数をかける筆算の途中の計算で、十の位の数をか
けた答えはずらして書いているかに注意させましょう。

ぴったり1 じゃんび 98 ページ

- 1 3330
2 406、5481

ぴったり2 練習 99 ページ

てびき

- 1 ①980 ②2240 ③230 ④440

1 ①計算のとちゅうをはぶくことができます。

| | | | |
|---|--|---|--|
| ① | $\begin{array}{r} 49 \\ \times 20 \\ \hline 980 \end{array}$ | → | $\begin{array}{r} 49 \\ \times 20 \\ \hline 980 \end{array}$ |
| | <small>←ここをはぶく ことができます。</small> | | <small>←この0をわすれない ようにしましょう。</small> |

②③かけられる数とかける数を入れかえても答え
は同じなので、②は 56×40 、③は 46×5 と
して計算しても答えは同じです。

| | | | | | | | |
|---|--|---|---|---|--|---|---|
| ② | $\begin{array}{r} 40 \\ \times 56 \\ \hline 240 \\ 200 \\ \hline 2240 \end{array}$ | → | $\begin{array}{r} 56 \\ \times 40 \\ \hline 2240 \end{array}$ | ③ | $\begin{array}{r} 5 \\ \times 46 \\ \hline 30 \\ 20 \\ \hline 230 \end{array}$ | → | $\begin{array}{r} 46 \\ \times 5 \\ \hline 230 \end{array}$ |
|---|--|---|---|---|--|---|---|

④ $11 \times 8 \times 5 = 11 \times 40 = 440$

2 3けたの数に2けたの数をかける筆算も、それぞ
れの位をたてにそろえて計算します。

| | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|
| 2 ① | $\begin{array}{r} 214 \\ \times 44 \\ \hline 856 \\ 856 \\ \hline 9416 \end{array}$ | ② | $\begin{array}{r} 139 \\ \times 36 \\ \hline 834 \\ 417 \\ \hline 5004 \end{array}$ | ③ | $\begin{array}{r} 154 \\ \times 56 \\ \hline 924 \\ 770 \\ \hline 8624 \end{array}$ |
|-----|---|---|---|---|---|

- 3 ①11466 ②12191 ③9400
④41756 ⑤11913 ⑥58800

3 筆算のとちゅうの計算の位がずれないように気
をつけましょう。

| | | | | | |
|---|--|---|--|---|--|
| ① | $\begin{array}{r} 234 \\ \times 49 \\ \hline 2106 \\ 936 \\ \hline 11466 \end{array}$ | ② | $\begin{array}{r} 167 \\ \times 73 \\ \hline 501 \\ 1169 \\ \hline 12191 \end{array}$ | ③ | $\begin{array}{r} 376 \\ \times 25 \\ \hline 1880 \\ 752 \\ \hline 9400 \end{array}$ |
| ④ | $\begin{array}{r} 803 \\ \times 52 \\ \hline 1606 \\ 4015 \\ \hline 41756 \end{array}$ | ⑤ | $\begin{array}{r} 209 \\ \times 57 \\ \hline 1463 \\ 1045 \\ \hline 11913 \end{array}$ | ⑥ | $\begin{array}{r} 700 \\ \times 84 \\ \hline 2800 \\ 5600 \\ \hline 58800 \end{array}$ |

1 10、10、690

2 ①
$$\begin{array}{r} 42 \\ \times 32 \\ \hline 84 \\ 126 \\ \hline 1344 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 302 \\ \times 80 \\ \hline 24160 \end{array}$$

3 ①320 ②680 ③720

4 ①384 ②338 ③798 ④5727
⑤2280 ⑥2624

5 ①1560 ②3100 ③581

6 ①2829 ②6930 ③14700 ④19076
⑤39396 ⑥42500

1 23×30 の答えは、 23×3 の答え 69 の 10 倍の数になります。

2 ①まちがっているか所は、十の位の計算で位がずれているところです。
②まちがっているか所は、一の位の計算で、はぶいた0を書きわすれているところです。

3 ① 4×80 の答えは、 4×8 の答えを 10 倍した数です。 $4 \times 8 = 32$ なので、32 の右はしに 0 を 1 つつけて 320 となります。
② 34×20 の答えは、 34×2 の答えを 10 倍した数です。 $34 \times 2 = 68$ なので、68 の右はしに 0 を 1 つつけて 680 となります。
③ 12×60 の答えは、 12×6 の答えを 10 倍した数です。 $12 \times 6 = 72$ なので、72 の右はしに 0 を 1 つつけて 720 となります。

4 位がずれないように注意して計算しましょう。

①
$$\begin{array}{r} 12 \\ \times 32 \\ \hline 24 \\ 36 \\ \hline 384 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 26 \\ \times 13 \\ \hline 78 \\ 26 \\ \hline 338 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 14 \\ \times 57 \\ \hline 98 \\ 70 \\ \hline 798 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 83 \\ \times 69 \\ \hline 747 \\ 498 \\ \hline 5727 \end{array}$$

⑤
$$\begin{array}{r} 95 \\ \times 24 \\ \hline 380 \\ 190 \\ \hline 2280 \end{array}$$

⑥
$$\begin{array}{r} 32 \\ \times 82 \\ \hline 64 \\ 256 \\ \hline 2624 \end{array}$$

5 ②③は、かけられる数とかける数を入れかえて計算します。

①
$$\begin{array}{r} 39 \\ \times 40 \\ \hline 1560 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 62 \\ \times 50 \\ \hline 3100 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 83 \\ \times 7 \\ \hline 581 \end{array}$$

この0をわすれないようにしましょう。

6 ①
$$\begin{array}{r} 123 \\ \times 23 \\ \hline 369 \\ 246 \\ \hline 2829 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 315 \\ \times 22 \\ \hline 630 \\ 630 \\ \hline 6930 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 196 \\ \times 75 \\ \hline 980 \\ 1372 \\ \hline 14700 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 502 \\ \times 38 \\ \hline 4016 \\ 1506 \\ \hline 19076 \end{array}$$

⑤
$$\begin{array}{r} 804 \\ \times 49 \\ \hline 7236 \\ 3216 \\ \hline 39396 \end{array}$$

⑥
$$\begin{array}{r} 500 \\ \times 85 \\ \hline 2500 \\ 4000 \\ \hline 42500 \end{array}$$

7 式 $180 \times 26 = 4680$
 $5000 - 4680 = 320$ 答え 320円

8 い、う

7 まず、シュークリームの代金^{だいきん}をもとめます。
 $180 \times 26 = 4680$ (円)なので、5000円から
 4680円をひくと、おつりがもとめられます。
 8 屋上^{おくじょう}までのだん数125だん、1だん分の高さ
 12cm^{つか}を使って、かけ算でもとめます。
 $12 \times 125 = 1500$ (cm)なので、ビルの高さは
 $1500 \text{ cm} = 15 \text{ m}$ となります。

おうちのかなへ 8の問題のように、算数を使って、物のおよその高さ、長さ、かさを求めることができるようにさせたいものです。他の物のおよその高さなどを求めさせて、算数感覚を育ててください。

17 倍の計算

ぴったり1 じゃんび 102 ページ

- 1 ①8 ②2 ③16 ④16
 2 21、7、7
 3 $\square \times 4$ 、5、5

ぴったり2 練習 103 ページ

- 1 ①35 cm ②9倍^{ばい} ③4 ④6m

2 式 $28 \div 7 = 4$ 答え 4倍

3 式 子どものあざらしの体重^{たいじゅう}を \square kgとして考
 える。
 $\square \times 8 = 64$ 答え 8kg

- 1 ① $5 \times 7 = 35$ 35 cm
 ② 何倍かをもとめるときは、わり算を使います。
 $27 \div 3 = 9$ 9倍
 ③ \square を4倍すると16になるから、
 $\square \times 4 = 16$
 $\square = 16 \div 4 = 4$ 4
 ④ \square mの2倍が12mだから、
 $\square \times 2 = 12$
 $\square = 12 \div 2 = 6$ 6m

- 2 28 cmは、7 cmのいくつ分になるかをもとめる
 ので、わり算を使ってもとめます。
 3 子どものあざらしの体重^{たいじゅう}を \square kgとして、かけ算
 の式^{あらい}に表して考えます。
 $\square \times 8 = 64$
 $\square = 64 \div 8 = 8$ 8kg

ぴったり3 たしがげのテスト 104~105 ページ

- 1 ①12 cm ②60 cm ③10倍

- 1 ① ㊸のひもの長さ(6 cm)の2倍なので、
 $6 \times 2 = 12$ より12 cmです。
 ② ㊹のひもの長さ(12 cm)の5倍なので、
 $12 \times 5 = 60$ より60 cmです。
 ③ ㊺のひもの長さは60 cm、㊸のひもの長さは
 6 cmなので、 $60 \div 6 = 10$ より10倍です。

2 ①32 ②6 ③8 ④2 ⑤7

3 式 $42 \div 6 = 7$ 答え 7倍

4 式 $45 \times 8 = 360$
 $360 \text{ cm} = 3\text{m } 60 \text{ cm}$
答え 3m 60 cm

5 ①5点 ②3倍 ③こころさん

2 ① $8 \times 4 = \square$ だから、 $\square = 32$

② $5 \times \square = 30$
 $\square = 30 \div 5 = 6$

③ $7 \times \square = 56$
 $\square = 56 \div 7 = 8$

④ $\square \times 3 = 6$
 $\square = 6 \div 3 = 2$

⑤ $\square \times 7 = 49$
 $\square = 49 \div 7 = 7$

3 42 cm は、6 cm のいくつかをもとめます。

4 「何 m 何 cm でしょうか」と聞いているので、360 cm と答えないように注意しましょう。

5 ①けんとさんの点数を□点として考える。

$\square \times 4 = 20$
 $\square = 20 \div 4 = 5$ 5点

②あおいさんの点は15点、けんとさんの点は①より5点だから、

$15 \div 5 = 3$ 3倍

③ $8 \times 3 = 24$ だから、24点の人はこころさんです。

18 そろばん

ぴったり1 **じゃんび** 106 ページ

1 7、4、147

2 1、0.1、0.3

ぴったり2 **練習** 107 ページ

てびき

1 ①712 ②4801 ③1050

2 ①あ2 い1
②あ1 い2

3 ①12 ②39 ③44 ④9 ⑤13万
⑥8万 ⑦3.7 ⑧0.7

1 ②の十の位、③の百の位、一の位はたまがはらってあるので0です。右の定位点が一の位です。

2 ①2をとって、10を入れます。
②10をとって、とりすぎた7を入れます。

3 定位点をかくにんして、一の位を決めてから計算しましょう。

おうちのがたへ そろばんでは、筆算の計算のしかたとは逆に、大きな位から計算します。

活用 算数を使って考えよう

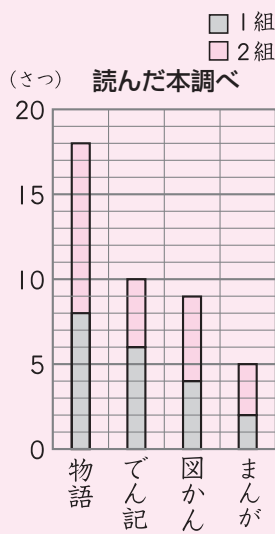
給食調べ

本だな

108~109 ページ

てびき

- ① (1)右のグラフ
 (2)9人、2倍
 (3)㉠、㉡
 (4)①㉠、物語を読んだ人は18人でいちばん多い。
 ②㉡、物語を読んだ人は18人、でん記を読んだ人は10人で、8人多い。



- ② (1)式 $3\text{m } 70\text{cm} - (2\text{m} + 80\text{cm}) = 90\text{cm}$
 答え 90cm
 (2)㉡
 (3)㉠

- ① (1)それぞれのしゅるいの本を読んだ人は、
 物語 $8 + 10 = 18$ (人)
 でん記 $6 + 4 = 10$ (人)
 図かん $4 + 5 = 9$ (人)
 まんが $2 + 3 = 5$ (人)
 (2)読んだ人数のちがいは、
 $18 - 9 = 9$ (人) $18 \div 9 = 2$ (倍)
 (3)㉠ 1組... $8 + 6 + 4 + 2 = 20$ (人)
 2組... $10 + 4 + 5 + 3 = 22$ (人)
 で、2組のほうが多い。
 ㉡でん記と図かんを読んだ人の合計は
 $10 + 9 = 19$ (人)で、1人多い。

- ② (1)ベッドとドアのすき間の長さを考えるから、みうさんの部屋の横の長さは3m 70cm、ベッドの長さは2m、ドアの長さは80cmより、 $3\text{m } 70\text{cm} - (2\text{m} + 80\text{cm})$ でもとめられます。
 単位をそろえて考えると、
 $3\text{m } 70\text{cm} = 370\text{cm}$ 、 $2\text{m} = 200\text{cm}$ だから、
 $370\text{cm} - (200\text{cm} + 80\text{cm}) = 90\text{cm}$
 (2)ベッドとドアのすき間は90cmだから、横の長さが90cmより短いなは、間におくことができます。
 (3)ピアノとドアのすき間の長さを考えるから、みうさんの部屋のたての長さは3m、ピアノの長さは1m 50cm、ドアの長さは80cmより、 $3\text{m} - (1\text{m } 50\text{cm} + 80\text{cm})$ でもとめられます。
 単位をそろえて考えると、
 $3\text{m} = 300\text{cm}$ 、 $1\text{m } 50\text{cm} = 150\text{cm}$ だから、
 $300\text{cm} - (150\text{cm} + 80\text{cm}) = 70\text{cm}$
 横の長さが70cmより短いなは、㉠



3年のまとめ

まとめのテスト

110 ページ

てびき

1 ①6002050 ②7.9 ③ $\frac{6}{8}$

2 ①5000 ②2650000 ③26500

3 ①> ②> ③=

4 ①4 ②5 ③4 ④10 ⑤6

5 ①722 ②1421 ③5400 ④306
⑤187 ⑥1097

6 $3008 - 239 = 2769$ 答え 2769人

1 ①100万が6こで、6000000
1000が2こで、2000
10が5こで、50
あわせて、6002050です。

②1が7こで7、0.1が9こで0.9。
7と0.9で7.9になります。

③6こあつめた数は、分数の線の上にかきます。
 $\frac{1}{8}$ が6こで、 $\frac{6}{8}$ となります。

2 ①265000 = 260000 + 5000 で表されます。
②もとの数の右はしに0を1つつけた数です。
③一の位の0をとった数になります。

3 ①整数部分の大きさをくらべます。10と9では
10のほうが大きいので、10.1のほうが大き
くなります。
②まず、3.2 + 5.7 の計算をします。
3.2 + 5.7 = 8.9 なので、9と8.9をくらべると、
9のほうが大きいです。

③まず、 $\frac{5}{6} + \frac{1}{6}$ の計算をします。 $\frac{5}{6} + \frac{1}{6} = \frac{6}{6}$
 $\frac{6}{6}$ は1なので1と等しくなります。

4 ①かける数が1へると、答えはかけられる数だけ
小さくなります。
②かけ算のかけられる数とかける数を入れかえて
も、答えは同じになります。
③7のだんの九九をとなえて答えを見つけます。
④かけられる数やかける数を分けて計算しても答
えは同じになります。
⑤左からじゅんに計算しても、かっこの中を先に
計算しても、答えは同じになります。

5 くり上がり、くり下がりに気をつけて、一の位か
らじゅんに計算していきます。

① $\begin{array}{r} 425 \\ +297 \\ \hline 722 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 639 \\ +782 \\ \hline 1421 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 3872 \\ +1528 \\ \hline 5400 \end{array}$

④ $\begin{array}{r} 584 \\ -278 \\ \hline 306 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 613 \\ -426 \\ \hline 187 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 9291 \\ -8194 \\ \hline 1097 \end{array}$

6 3008人より239人少ない数をもとめるのでひき算になります。
答えは筆算でもとめましょう。

$\begin{array}{r} 3008 \\ -239 \\ \hline 2769 \end{array}$

- 1 ①6 ②9 ③10
④8あまり1 ⑤7あまり5
⑥9あまり3

2 $41 \div 6 = 6$ あまり5
 $6 + 1 = 7$ 答え 7箱

- 3 ①567 ②2035 ③480 ④63279

4 式 $250 \times 7 = 1750$ 答え 1750円

- 5 ①26 ②70 ③9 ④48

6 式 $35 \div 7 = 5$ 答え 5倍

- 1 わる数のだんの九九を使ってもとめます。
①は4のだん、②は8のだんの九九を使って答えをもとめます。

①四六24で、答えは6です。

②八九72で、答えは9です。

③60を10が6ことみて、10が(6÷6)こ。
10が1こなので、答えは10です。

④25÷3 3のだんの九九を使って、
「三八24」あまりは、25-24=1

⑤「七七49」あまりは、54-49=5

⑥「九九81」あまりは、84-81=3

- 2 41 このボールを6こずつ箱につめるので、ボールを入れる箱の数は、わり算でもとめられます。
 $41 \div 6 = 6$ あまり5

6このボールを入れる箱の数6箱と、のこっている5このボールを入れる箱がもう1箱いるので、
 $6 + 1 = 7$ で、箱の数は全部で7箱になります。

- 3 ④2けたの数をかけるときは、答えを書く位をまちがえないように気をつけましょう。

① $\begin{array}{r} 63 \\ \times 9 \\ \hline 567 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 407 \\ \times 5 \\ \hline 2035 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 24 \\ \times 20 \\ \hline 480 \end{array}$

④ $\begin{array}{r} 801 \\ \times 79 \\ \hline 7209 \\ 5607 \\ \hline 63279 \end{array}$
ここの0をわすれないようにしましょう。

- 4 $1 \text{ こ分のねだん} \times \text{こ数} = \text{代金}$ 250
とを考えます。 $\begin{array}{r} \times 7 \\ \hline 1750 \end{array}$
答えは筆算でもとめましょう。

- 5 ①94-68=26
②24+46=70
③72÷8=9
④8×6=48

- 6 何倍かをもとめるときは、わり算を使います。

1 5 cm

2 午後 1 時 35 分

3 150 m

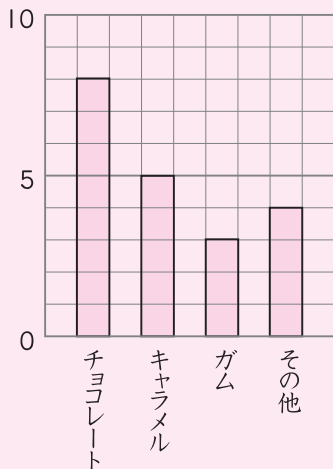
4 ① 4 m 77 cm ② 5 m 22 cm

5 300 g

6 ① すきなおかし調べ

| しゅるい | 人数 (人) |
|--------|-----------|
| チョコレート | 8 |
| キャラメル | 5 |
| ガム | 3 |
| その他 | 4 |

② (人) すきなおかし調べ



③ 20 人

1 直径が 30 cm の円の中に同じ大きさの円が 3 つならんでいるので、1 つの円の直径の長さは、 $30 \div 3 = 10$ (cm) 半径の長さは直径の長さの半分なので、5 cm になります。

2 午後 2 時 30 分の 30 分前が、ちょうど午後 2 時です。 $55 - 30 = 25$ よりさらにその 25 分前なので、午後 1 時 35 分です。

3 道のりは $350 + 600 = 950$ (m) きよりは 800 m なので、ちがいは $950 - 800 = 150$ (m) になります。

4 大きなめもりは 5 m です。
① 5 m より短いです。
② 5 m より長いです。

5 全体の重さは、はかりのめもりをよんで 450 g ということがわかります。

全体の重さ = りんごの重さ + かごの重さ より、
全体の重さ から かごの重さ をひけばりんごの重さ がもとめられます。

かごの重さ 150 g をひくと、 $450 - 150 = 300$ (g) となります。

6 ① ぼうグラフから、それぞれの人数をよみとります。ぼうグラフの 1 めもりは 1 人を表しています。

③ すべての人数をたすと、 $8 + 5 + 3 + 4 = 20$ で、20 人となります。



1 ①7 ②5

2 ①180 ②1、40 ③140^{びょう}秒

3 1時間25分

4 ①601 ②1384 ③9190 ④245
⑤652 ⑥3090

5 ①5 ②7 ③1 ④0
⑤5あまり5 ⑥6あまり2

1 ① 7×4 は、 7×3 よりかける数が1ふえているので、答えは7大きくなります。

②かけられる数とかける数を入れかえても答えは同じなので、 $5 \times 6 = 6 \times 5$ です。

2 1分=60秒なので、

① $3分 = 60秒 + 60秒 + 60秒 = 180秒$ です。

② $100秒 = 60秒 + 40秒 = 1分40秒$ です。

③ $140秒 = 120秒 + 20秒 = 2分20秒$ です。

3 午後1時40分から午後2時までの時間は、20分。午後2時から午後3時までの時間は、60分。午後3時から午後3時5分までの時間は、5分。20分と60分と5分をあわせて
 $85分 = 1時間25分$ になります。

4 ①十の位くわいの計算は、一の位から1くり上がっている
ので、 $1 + 7 + 2 = 10$
百の位の計算も同じく1くり上がってくるので、
 $1 + 1 + 4 = 6$ になります。答えの十の位に0
を書きわすれないようにしましょう。

②十の位の計算は、一の位から1くり上がっている
ので、 $1 + 3 + 4 = 8$ 百の位の計算は、
 $6 + 7 = 13$ 答えのけた数がふえます。

| | | |
|--|---|---|
| ① | ② | ③ |
| $\begin{array}{r} 176 \\ +425 \\ \hline 601 \end{array}$ | $\begin{array}{r} 638 \\ +746 \\ \hline 1384 \end{array}$ | $\begin{array}{r} 2874 \\ +6316 \\ \hline 9190 \end{array}$ |

④一の位の計算は、十の位から1くり下げている
ので、 $13 - 8 = 5$ 十の位の計算も同じく1
くり下げるので、 $11 - 7 = 4$
百の位の計算は、十の位に1くり下げているの
で、 $4 - 2 = 2$

⑤百の位の計算は、千の位から1くり下げて、
 $11 - 5 = 6$ になります。

| | | |
|--|---|---|
| ④ | ⑤ | ⑥ |
| $\begin{array}{r} 523 \\ -278 \\ \hline 245 \end{array}$ | $\begin{array}{r} 1195 \\ -543 \\ \hline 652 \end{array}$ | $\begin{array}{r} 8369 \\ -5279 \\ \hline 3090 \end{array}$ |

5 ①2のだんの九九つかを使ってもとめます。
二五10で、答えは5です。

②3のだんの九九つかを使ってもとめます。
三七21で、答えは7です。

③わられる数とわる数が同じ数のとき、答えは1
になります。

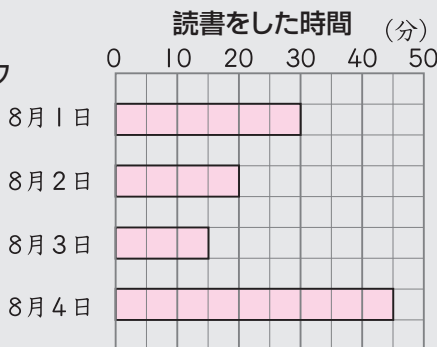
④わられる数が0のとき、答えはいつも0になり
ます。

6 ①cm ②km ③m

7 ①8m 90 cm ②9m 25 cm

8 ①6000 ②5、800

9 ①5分
②右のグラフ



③8月1日のほうが、15分多く読書をした。

10 式 $125 + 798 = 923$

$1000 - 923 = 77$ 答え 77円

11 ①式 $36 \div 4 = 9$ 答え 9まい

②式 $36 \div 6 = 6$ 答え 6たば

12 式 $50 \div 9 = 5$ あまり5

答え 5本できて、5mあまる。

⑤⑥あまりをわすれないようにしましょう。

つぎのように答えのたしかめをしましょう。

$$⑤ 6 \times 5 + 5 = 35$$

もとの数の35になるので、答えは正しいといえます。

$$⑥ 8 \times 6 + 2 = 50$$

もとの数の50になるので、答えは正しいといえます。

6 ②長いきよりを表す単位にkmがあります。「k」は1000を表します。おぼえておくとべんりです。

7 1めもりは1cmを表しています。

①9mより10cm前をさしているの、8m 90cmです。

②20と30のめもりのちょうどまん中は25なので、9mと25cmで、9m 25cmです。

8 ①1km=1000mなので、6km=6000mです。

$$② 5800 \text{ m} = 5000 \text{ m} + 800 \text{ m} = 5 \text{ km } 800 \text{ m}$$

9 ①1めもりは、10分を2つに分けた1つ分なので5分になります。

③8月1日は30分、8月3日は15分読書をしたので、ちがいは、 $30 - 15 = 15$ で15分です。

10 はじめに、買い物だいきんの代金をもとめます。

$125 + 798 = 923$ で923円なので、1000円から923円をひいた数のこりの金がのこりの金になります。

11 ① $\frac{\text{全部の数}}{\text{人数}} = \text{1人分の数}$ と考えます。

② $\frac{\text{全部の数}}{\text{1たば分の数}} = \text{できるたばの数}$ と考えます。

①と②で、答えの単位がちがうので注意ちゅういしましょう。

12 $\frac{\text{全体の長さ}}{\text{1本分の長さ}} = \text{できる本数}$

と考えると、わりきれない分をあまりにしましょう。次のように考えて答えのたしかめをしましょう。

$$9 \times 5 + 5 = 50$$

もとの長さの50mになるので、答えは正しいといえます。

13 式 $52 \div 6 = 8$ あまり 4
 $8 + 1 = 9$ 答え 9まい

13 52 このりんごを6こずつふくろに入れるので、りんごを入れるふくろの数は、わり算でもとめられます。「8あまり4」は、「りんごを入れるふくろの数8まいとあまったりんごが4こ」を表しています。あまったりんご4こを入れるふくろがもう1まいあるので、 $8 + 1 = 9$ で9まいとなります。



冬のチャレンジテスト

てびき

- 1 ①26710438 ②50090000
 ③99999999
- 2 ①77 ②168 ③522 ④130 ⑤1484
 ⑥5004

- 3 ① $\frac{3}{7}$ ②7 ③9 ④8

- 4 二等辺三角形…③
 正三角形…②

- 5 ①< ②=

- 6 ①10倍…9300 100倍…93000
 1000倍…930000
 10でわった数…93
- ②10倍…50200 100倍…502000
 1000倍…5020000
 10でわった数…502

- 1 位をかくにんしながら、数を書きましょう。
 ③1億を数字で表してから1をひきましょう。
- 2 ③十の位にくり上がった4をたすことをわすれないように注意しましょう。
 ⑤⑥2けたの数にかける計算と同じように一の位からじゅんに計算します。
 けた数が多くなると、くり上がりの計算も多くなるので、気をつけましょう。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | $\begin{array}{r} 11 \\ \times 7 \\ \hline 77 \end{array}$ | ② | $\begin{array}{r} 42 \\ \times 4 \\ \hline 168 \end{array}$ | ③ | $\begin{array}{r} 87 \\ \times 6 \\ \hline 522 \end{array}$ |
| ④ | $\begin{array}{r} 26 \\ \times 5 \\ \hline 130 \end{array}$ | ⑤ | $\begin{array}{r} 742 \\ \times 2 \\ \hline 1484 \end{array}$ | ⑥ | $\begin{array}{r} 834 \\ \times 6 \\ \hline 5004 \end{array}$ |

- 3 ④分母と分子が同じ数のとき1になります。分母が8なので、1になるのは $\frac{8}{8}$ のときです。

$\frac{8}{8}$ は $\frac{1}{8}$ を8こあつめた数です。

- 4 コンパスを使って辺の長さをくらべましょう。

- ①④⑤3つとも辺の長さがちがう。
 ②3つの辺の長さがすべて等しい。
 ③2つの辺の長さが等しい。

- 5 ① $\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ が3こ分、 $\frac{5}{4}$ は $\frac{1}{4}$ が5こ分なので、 $\frac{5}{4}$ のほうが大きくなります。

② $\frac{10}{10} = 1$ なので、2つの数は等しくなります。

- 6 10倍することは、数の右はしに0を1つつける、100倍することは、10倍した数をさらに10倍するので、数の右はしに0を2つつける、1000倍することは、100倍した数をさらに10倍するので、数の右はしに0を3つつける、10でわることは、一の位の0をとることになります。

7 ① $\frac{5}{7}$ ② 1 ③ $\frac{3}{9}$ ④ $\frac{1}{3}$

8 式 $12 \div 2 = 6$

答え 6 cm

9 ① 15 cm ② 20 cm

10 式 $1000 - 180 = 820$

答え 820 g

11 式 $128 \times 3 = 384$
 $384 + 45 = 429$

答え 429 g

12 ① 9 cm ② 10 cm

7 ① $\frac{1}{7}$ をもとにして考えると、 $\frac{1}{7}$ が(3+2)こ分で、 $\frac{5}{7}$ となります。

② $\frac{1}{2}$ をもとにして考えると、 $\frac{1}{2}$ が(1+1)こ分で、 $\frac{2}{2} = 1$ となります。

③ $\frac{1}{9}$ をもとにして考えると、 $\frac{1}{9}$ が(8-5)こ分で、 $\frac{3}{9}$ となります。

④ $1 = \frac{3}{3}$ なので、 $\frac{3}{3} - \frac{2}{3}$ を計算します。

$\frac{1}{3}$ が(3-2)こ分で、 $\frac{1}{3}$ となります。

8 ボールの直径の長さ2こ分が、12 cm と等しいので、ボールの直径は、 $12 \div 2 = 6$ で6 cm になります。

9 ① 1つの円の直径が6 cm のとき、半径は
 $6 \div 2 = 3$ (cm)

直線アイの長さは、円の半径5こ分なので、
 $3 \times 5 = 15$ で15 cm となります。

② 直線アイの長さは、円の半径5こ分なので、直線アイの長さが50 cm のとき、1つの円の半径は、 $50 \div 5 = 10$ (cm)

直径は、半径の2倍の長さなので、

$10 \times 2 = 20$ で20 cm となります。

10 全体の重さ = みかんの重さ + かごの重さ なので、みかんの重さは、全体の重さから、かごの重さをひいてもとめられます。

1 kg を1000 g になおして計算しましょう。

11 まず、ドーナツ3こ分の重さをかけ算でもとめます。

$$128 \times 3 = 384 \text{ (g)}$$

ドーナツの重さに箱の重さをたして、

$$384 + 45 = 429 \text{ (g)} \text{ となります。}$$

箱の重さをたすのをわすれないようにしましょう。

12 ① 正三角形は、3つの辺の長さが等しいので、
 $27 \div 3 = 9$ で、1つの辺の長さは9 cm になります。

② 二等辺三角形を作るには、のこりの2つの辺の長さを等しくしないといけないので、まず、
 $27 - 7 = 20$ (cm) で、のこりのひもの長さをもとめます。のこりのひもを同じ長さに分けるので、 $20 \div 2 = 10$ で10 cm となります。



春のチャレンジテスト

てびき

1 ①2.5 ②48.3 ③72.6

2 ①< ②> ③<

3 ①15.7 ②35.7 ③50.1 ④2.1 ⑤28.9
⑥34.4

4 ①5、6 ②9、1 ③2.8 ④47.3

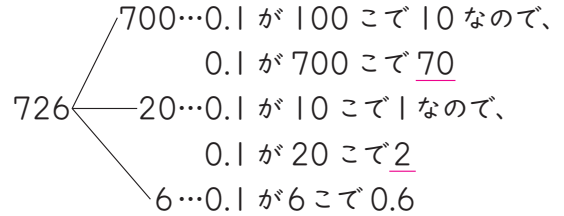
5 ①10 ②10

6 ①12-4 ②8+4 ③12÷4 ④3×4

1 ①1が2こで2、0.1が5こで0.5。
2と0.5で2.5になります。

$$\begin{array}{r} ② \quad 48 \\ + \quad 0.3 \\ \hline 48.3 \end{array}$$

③0.1が10こで1をもとに考えます。



70と2と0.6で72.6になります。

2 まず、せいすうぶぶん整数部分で大きさをくらべます。

①0と1では1のほうが大きいので、1.2のほうが大きくなります。

②10と8では10のほうが大きいので、10.1のほうが大きくなります。

③0は何もないことなので、0.9のほうが大きくなります。

3 ひっさん筆算でするとき、いち小数点の位置をそろえて計算します。

くらい位がずれないようにちゅうい注意しましょう。

$$\begin{array}{r} ① \quad 1.5 \quad ② \quad 26.9 \quad ③ \quad 7.1 \\ + 14.2 \quad + 8.8 \quad + 43 \\ \hline 15.7 \quad 35.7 \quad 50.1 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ④ \quad 2.5 \quad ⑤ \quad 30.2 \quad ⑥ \quad 43 \\ - 0.4 \quad - 1.3 \quad - 8.6 \\ \hline 2.1 \quad 28.9 \quad 34.4 \end{array}$$

4 ①5.6Lは、5Lと0.6Lをあわせたかさです。
0.1L=1dLなので、0.6L=6dLです。

②9.1cmは、9cmと0.1cmをあわせた長さです。0.1cm=1mmです。

③8dL=0.8Lなので、2Lと0.8Lで2.8Lになります。

④3mm=0.3cmなので、47cmと0.3cmをあわせた長さで、47.3cmになります。

5 ②かける数の12を、2と10のように分けて計算しても答えは同じになります。

6 ①□にあてはまる数は、12-4で8です。

②□にあてはまる数は、8+4で12です。

③□にあてはまる数は、12÷4で3です。

④□にあてはまる数は、3×4で12です。

7 ①13 ②60 ③6 ④72

8 ①672 ②2546 ③2210 ④3780
⑤5076 ⑥6630 ⑦12090 ⑧29498

9 式 $3.5 + 0.9 = 4.4$ 答え 4.4 kg

10 式 $8 - 0.2 = 7.8$ 答え 7.8 m

11 式 $9 \times \square = 72$
 $72 \div 9 = 8$ 答え 8こ

12 式 あみさんのリボンの長さを \square cm として考
える。
 $\square \times 3 = 63$ 答え 21 cm

7 ①□にあてはまる数は、 $31 - 18 = 13$
②□にあてはまる数は、 $17 + 43 = 60$
③□にあてはまる数は、 $48 \div 8 = 6$
④□にあてはまる数は、 $8 \times 9 = 72$

8 筆算でするとき、とちゅうの計算の位がずれない
ように注意しましょう。

| | | |
|---|--|--|
| ① | ② | ③ |
| $\begin{array}{r} 16 \\ \times 42 \\ \hline 32 \\ 64 \\ \hline 672 \end{array}$ | $\begin{array}{r} 38 \\ \times 67 \\ \hline 266 \\ 228 \\ \hline 2546 \end{array}$ | $\begin{array}{r} 26 \\ \times 85 \\ \hline 130 \\ 208 \\ \hline 2210 \end{array}$ |

| | | |
|---|---|---|
| ④ | ⑤ | ⑥ |
| $\begin{array}{r} 54 \\ \times 70 \\ \hline 3780 \end{array}$ | $\begin{array}{r} 423 \\ \times 12 \\ \hline 846 \\ 423 \\ \hline 5076 \end{array}$ | $\begin{array}{r} 195 \\ \times 34 \\ \hline 780 \\ 585 \\ \hline 6630 \end{array}$ |

| | |
|---|--|
| ⑦ | ⑧ |
| $\begin{array}{r} 186 \\ \times 65 \\ \hline 930 \\ 1116 \\ \hline 12090 \end{array}$ | $\begin{array}{r} 602 \\ \times 49 \\ \hline 5418 \\ 2408 \\ \hline 29498 \end{array}$ |

9 子犬の体重 + かごの重さ = 3.5
= 全体の重さ と考えます。 + 0.9
4.4

10 全体の長さ - 切り取った長さ = 8.0
= のこりの長さ と考えます。 - 0.2
7.8
筆算ですると、右のようになります。
筆算をするとき、8は8.0と
考えて位をそろえます。

11 1 こ分のねだん \times 買った数 = 代金
と考えます。買った数を \square として、上の式にあて
はめて考えます。
上の式にあてはめると $9 \times \square = 72$ になり、 \square に
あてはまる数は、 $72 \div 9 = 8$

12 あみさんのリボンの長さを \square cm として、かけ算
の式に表して考えます。
 $\square \times 3 = 63$
 $\square = 63 \div 3 = 21$ 答え 21 cm

学力しんだんテスト

てびき

1 ①99064000 ②35200000

2 ①0 ②60 ③3 ④42 ⑤902
⑥588 ⑦1075 ⑧4875

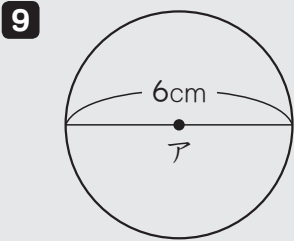
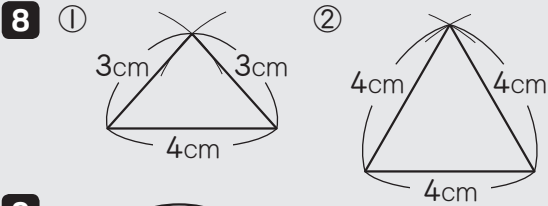
3 ①0.4 dL ②2.9 cm

4 ① $\frac{2}{5}$ ② $\frac{4}{7}$

5 ①> ②< ③= ④<

6 ①7010 ②60 ③1、27 ④5

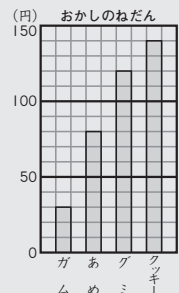
7 ①420 ②3、600



10 ①6 cm ②18 cm

11 ①式 $40 \div 8 = 5$ 答え 5こ
②式 $40 \div 6 = 6$ あまり4
($6 + 1 = 7$) 答え 7こ

12 ① $38 - \square = 25$ ②13

13 ①  ②おかしは、

ガム、
グミ、
クッキー
が買えて、
合計は290円
です。

14 ①式 $390 + 700 = 1090$
($1090 \text{ m} = 1 \text{ km } 90 \text{ m}$)
答え 1 km 90 m

②近いのは、アの道
わけ…(れい)アの道のりは1370 m、
①の道のりは1530 mで、ア
の道のりのほうが短いから。

3 ①1 dLを10等分したうちの4こ分なので、
0.1 dLが4こ分で0.4 dLです。

4 ①1 mを5等分した1こ分は $\frac{1}{5}$ mだから、2こ分は
 $\frac{2}{5}$ mです。

6 ①1 km=1000 m ②③1分=60秒 ④1000 g=1 kg

7 ①いちばん小さい1目もりは5 gです。

②いちばん小さい1目もりは20 gです。

8 どちらもまずは1つの辺をかきます。その辺のりょうはし
にコンパスのはりをさして、それぞれの辺の長さを半径と
する円をかきます。円の交わる点がちょう点です。
①は、3 cmの辺をいちばん下にかいても正かいです。

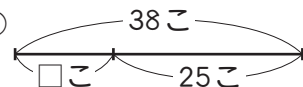
9 直径6 cmの円は、半径が3 cmになるので、コンパスの
はりとしんの間は3 cmにします。

10 ①箱の横の長さは12 cmで、横はボールの直径2こ分の
長さなので、ボールの直径は、 $12 \div 2 = 6$ で6 cmです。
②箱のたての長さはボールの直径3こ分の長さなので、
 $6 \times 3 = 18$ で、18 cmです。

11 ①同じ数ずつ分けるので、わり算を使います。

② $40 \div 6 = 6$ あまり4なので、6こずつ箱に入れると、
6こ入った箱は6こできて、4このたまごがあまります。
そこで、このあまったたまごを入れるために、もう1こ
の箱がいります。だから、 $6 + 1 = 7$ で、7この箱がい
ります。 $6 + 1 = 7$ という式ははぶいて、答えを7こと
していても正かいです。

12 ①はじめの数 - 食べた数 = のこりの数

②  □ = 38 - 25
□ = 13

13 ①ぼうグラフの1目もりは、10円です。

②3このねだんをたして、300円にいちばん近くなるも
のを考えます。ぼうグラフをみて考えたり、いろいろな
組み合わせで合計を考えたり、くふうして答えをもとめ
ます。また、ガム、グミ、クッキーのじゅん番は、入れ
かわっていても正かいです。

14 ①1090 m = 1 km 90 m という式ははぶいて、答えを
1 km 90 m としていても正かいです。

②アの道のりは、 $420 + 950 = 1370$ (m)、

①の道のりは、 $650 + 880 = 1530$ (m)です。

わけは、「アの道のりが1370 m」「①の道のりが1530 m」
「アの道のりのほうが短い」ということが書けていれば正
かいです。もちろん上の計算を書いても正かいです。